

茂原市まちづくりアンケート 分析結果報告書

令和7年6月
茂原市

I 市民アンケート結果

茂原市での暮らしについて

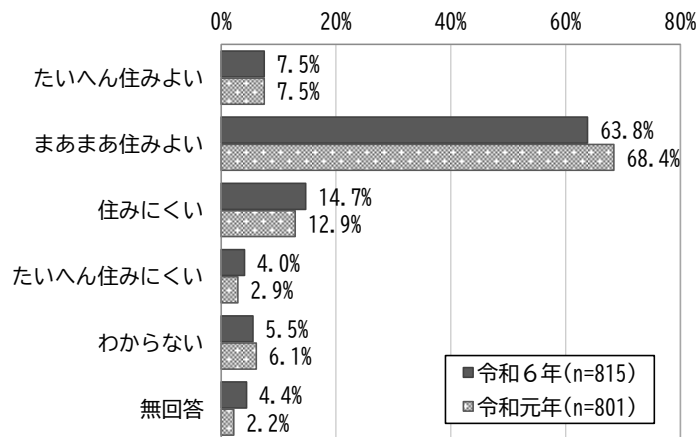
① 茂原市の「住みごこち」【単数回答】

○「たいへん住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよい』が 71.3%、「住みにくい」と「たいへん住みにくい」を合わせた『住みにくい』が 18.7%となっている。

●前回調査と比べて、大きな差はみられない。

●性別にみると、『住みにくい』の割合は、女性が男性に比べてやや高い。

●年齢別にみると、『住みにくい』の割合が最も高いのは“～19 歳”で 36.4%となっている。20 代以上のすべての年代で、『住みよい』が7割以上となっている。



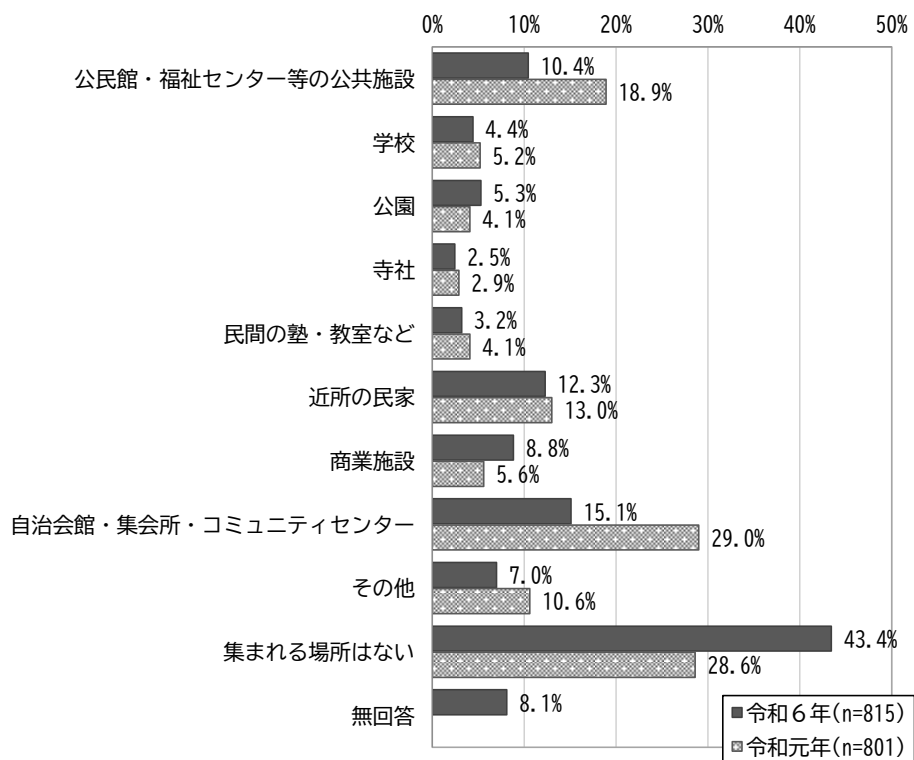
【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	たいへん 住みよい	まあまあ 住みよい	住みにく い	たいへん 住みにく い	わからな い	無回答
性 別	全体	815 100.0	61 7.5	520 63.8	120 14.7	33 4.0	45 5.5	36 4.4
	男性	370 100.0	39 10.5	237 64.1	47 12.7	17 4.6	25 6.8	5 1.4
	女性	407 100.0	22 5.4	274 67.3	71 17.4	16 3.9	19 4.7	5 1.2
年 齢	～19歳	11 100.0	1 9.1	5 45.5	1 9.1	3 27.3	1 9.1	0 0.0
	20～29歳	64 100.0	5 7.8	44 68.8	10 15.6	2 3.1	3 4.7	0 0.0
	30～39歳	104 100.0	6 5.8	73 70.2	14 13.5	3 2.9	7 6.7	1 1.0
	40～49歳	160 100.0	12 7.5	104 65.0	33 20.6	5 3.1	6 3.8	0 0.0
	50～59歳	126 100.0	11 8.7	80 63.5	21 16.7	8 6.3	6 4.8	0 0.0
	60～69歳	143 100.0	9 6.3	96 67.1	21 14.7	6 4.2	9 6.3	2 1.4
	70～79歳	110 100.0	6 5.5	75 68.2	14 12.7	4 3.6	8 7.3	3 2.7
	80歳以上	66 100.0	11 16.7	41 62.1	6 9.1	2 3.0	4 6.1	2 3.0

①10 歳代の『住みにくい』の割合が他の年代に比べて高く、特に若い世代の住みよいと思える環境づくりが必要。

② 集まれる場所【複数回答】＊いくつでも

○「集まれる場所はない」が 43.4%で最も多い。集まれる場所としては、「自治会館・集会所・コミュニティセンター」が 15.1%で最も多くなっている。

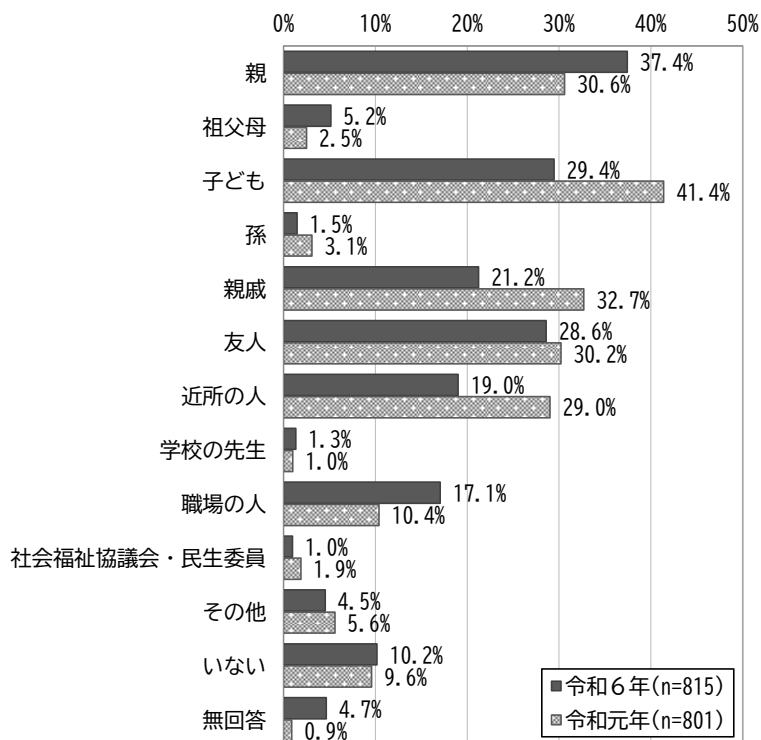
●前回調査と比べて、「集まれる場所はない」が 14.8 ポイントと大きく増加している。



③ 助けてくれる人【複数回答】＊いくつでも

○「親」が37.4%で最も多く、次いで「子ども」29.4%、「親戚」21.2%の順となっている。

●前回調査と比べて、「親」が6.8ポイント、「職場の人」が6.7ポイント増加しているのに対し、「子ども」「親戚」「近所の人」がそれぞれ10ポイント以上減少している。



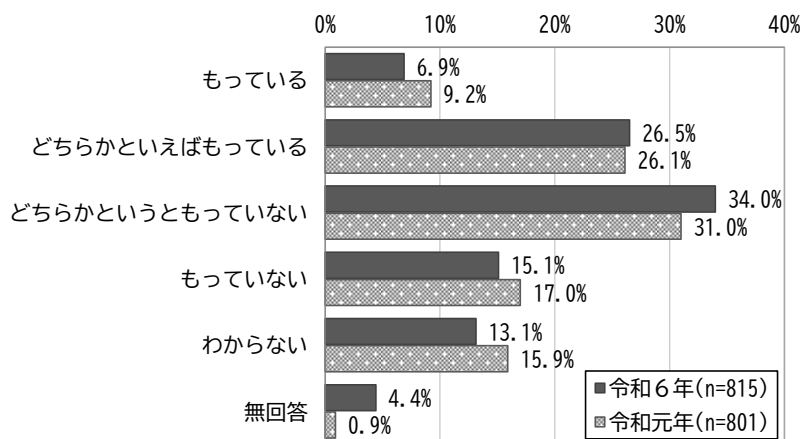
②③助けてくれる人で「近所の人」と回答した人が大きく減少しており、近所で助け合うことができる関係性の希薄化がうかがえる。地域で集まる場所がないと感じている人が増加していることから、地域のきずなの維持・強化に向けて、地域の人々が交流することのできる場の確保が必要。

④ 将来への希望【単数回答】

○「もっている」と「どちらかといえばもっている」を合わせた『もっている』が33.4%、「どちらかというともっていない」と「もっていない」を合わせた『もっていない』が49.1%となっている。

●前回調査と比べて、大きな差はみられない。

●年齢別にみると、20～60歳代では『もっていない』が過半数となっている。



【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	もっている	どちらか といえ ばも って い る	どちらか という とも って い ない	もって い ない	わから ない	無回答
全体		815 100.0	56 6.9	216 26.5	277 34.0	123 15.1	107 13.1	36 4.4
性別	男性	370 100.0	29 7.8	98 26.5	124 33.5	61 16.5	52 14.1	6 1.6
	女性	407 100.0	27 6.6	114 28.0	151 37.1	57 14.0	55 13.5	3 0.7
年齢	～19歳	11 100.0	1 9.1	3 27.3	3 27.3	2 18.2	2 18.2	0 0.0
	20～29歳	64 100.0	2 3.1	16 25.0	28 43.8	9 14.1	9 14.1	0 0.0
	30～39歳	104 100.0	7 6.7	28 26.9	40 38.5	15 14.4	13 12.5	1 1.0
	40～49歳	160 100.0	10 6.3	42 26.3	57 35.6	29 18.1	22 13.8	0 0.0
	50～59歳	126 100.0	8 6.3	34 27.0	48 38.1	25 19.8	11 8.7	0 0.0
	60～69歳	143 100.0	4 2.8	32 22.4	57 39.9	26 18.2	24 16.8	0 0.0
	70～79歳	110 100.0	14 12.7	36 32.7	27 24.5	14 12.7	16 14.5	3 2.7
	80歳以上	66 100.0	10 15.2	25 37.9	16 24.2	2 3.0	10 15.2	3 4.5

④20～60歳代で希望を『もっていない』と回答した人の割合が過半数となっており、特に働き世代が希望をもてるまちづくりの推進が必要。

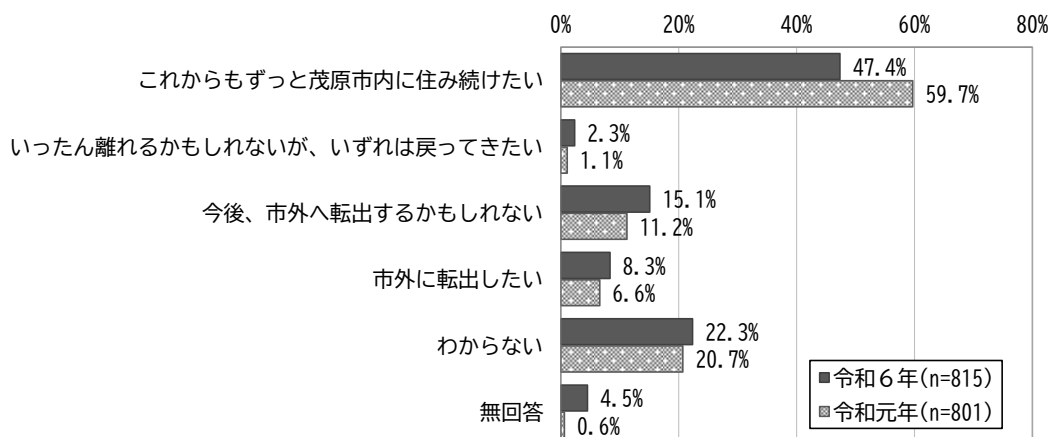
⑤定住意向【単数回答】

○「これからもずっと茂原市内に住み続けたい」と「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」を合わせた『定住意向あり』の人が、49.7%となっている。

●前回調査と比べて、「これからもずっと茂原市内に住み続けたい」の割合が 12.3 ポイント減少している。

●年齢別にみると、『定住意向あり』の人の割合は 10～20 歳代で3割前後、30～50 歳代では4割前後となっている。

●幸福度別にみると、“とても幸せ”“ある程度幸せ”と答えた人は、“あまり幸せではない”“全く幸せではない”と答えた人に比べて『定住意向あり』の人の割合が高くなっている。



【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	これからも ずっと 茂原市内 に住み続 けたい	いったん 離れるか もしれな いが、い ずれは 戻ってき たい	今後、市 外へ転出 するかも しれない	市外に転 出した いたい	わからな い	無回答
全体		815 100.0	386 47.4	19 2.3	123 15.1	68 8.3	182 22.3	37 4.5
性別	男性	370 100.0	188 50.8	8 2.2	63 17.0	30 8.1	74 20.0	7 1.9
	女性	407 100.0	194 47.7	11 2.7	57 14.0	37 9.1	104 25.6	4 1.0
年齢	～19歳	11 100.0	2 18.2	2 18.2	3 27.3	1 9.1	3 27.3	0 0.0
	20～29歳	64 100.0	12 18.8	9 14.1	19 29.7	9 14.1	15 23.4	0 0.0
	30～39歳	104 100.0	40 38.5	4 3.8	24 23.1	12 11.5	23 22.1	1 1.0
	40～49歳	160 100.0	69 43.1	1 0.6	26 16.3	21 13.1	42 26.3	1 0.6
	50～59歳	126 100.0	58 46.0	1 0.8	23 18.3	8 6.3	34 27.0	2 1.6
	60～69歳	143 100.0	71 49.7	2 1.4	21 14.7	13 9.1	34 23.8	2 1.4
	70～79歳	110 100.0	78 70.9	0 0.0	4 3.6	3 2.7	23 20.9	2 1.8
	80歳以上	66 100.0	56 84.8	0 0.0	2 3.0	1 1.5	6 9.1	1 1.5
	幸福度	とても幸せ	67 100.0	36 53.7	2 3.0	12 17.9	8 11.9	8 11.9
ある程度幸せ		448 100.0	249 55.6	12 2.7	71 15.8	25 5.6	88 19.6	3 0.7
どちらとも言えない		175 100.0	72 41.1	4 2.3	26 14.9	15 8.6	55 31.4	3 1.7
あまり幸せではない		54 100.0	12 22.2	0 0.0	8 14.8	14 25.9	20 37.0	0 0.0
全く幸せではない		24 100.0	6 25.0	1 4.2	5 20.8	4 16.7	8 33.3	0 0.0

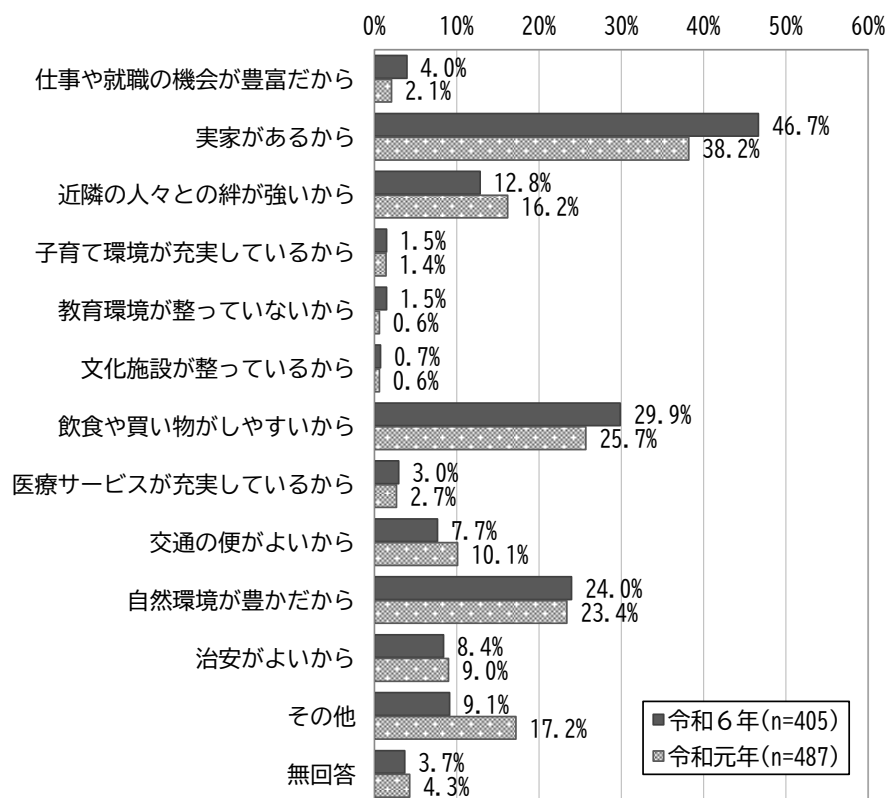
⑤以前に比べ、定住意向のある人の割合が減少している。市民の幸福度と定住意向には相関関係がみられることから、今後のまちづくりに市民の幸福度の視点を踏まえることで、住み続けたいと思える環境づくりを推進することが必要。

⑤-1 住み続けたい理由【複数回答】＊2つまで

○「実家があるから」が46.7%で最も多くなっている。

●前回調査に比べて「実家があるから」が8.5ポイント、「飲食や買い物がしやすいから」が4.2ポイント増加している。

●年代別にみると、「飲食や買い物がしやすいから」は、70歳代以上で最も多くなっており、20～30歳代でも約4割を占めている。



【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	仕事や就 職の機会 が豊富だ から	実家があ るから	近隣の 人々との 絆が強い から	子育て環 境が充実 している から	教育環境 が整って いないか ら	文化施設 が整って いるから	飲食や買 い物がし やすいか ら
全体		405 100.0	16 4.0	189 46.7	52 12.8	6 1.5	6 1.5	3 0.7	121 29.9
性別	男性	196 100.0	6 3.1	97 49.5	27 13.8	4 2.0	5 2.6	1 0.5	57 29.1
	女性	205 100.0	10 4.9	92 44.9	25 12.2	2 1.0	1 0.5	2 1.0	63 30.7
年齢	～19歳	4 100.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～29歳	21 100.0	0 0.0	17 81.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 38.1
	30～39歳	44 100.0	3 6.8	25 56.8	3 6.8	2 4.5	1 2.3	0 0.0	17 38.6
	40～49歳	70 100.0	4 5.7	40 57.1	1 1.4	3 4.3	2 2.9	0 0.0	17 24.3
	50～59歳	59 100.0	6 10.2	31 52.5	5 8.5	0 0.0	1 1.7	1 1.7	12 20.3
	60～69歳	73 100.0	1 1.4	35 47.9	12 16.4	0 0.0	1 1.4	0 0.0	24 32.9
	70～79歳	78 100.0	1 1.3	24 30.8	19 24.4	1 1.3	0 0.0	1 1.3	26 33.3
	80歳以上	56 100.0	1 1.8	13 23.2	12 21.4	0 0.0	1 1.8	1 1.8	17 30.4

【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	医療サー ビスが充 実してい るから	交通の便 がよいか ら	自然環境 が豊かだ から	治安がよ いから	その他	無回答
全体		405 100.0	12 3.0	31 7.7	97 24.0	34 8.4	37 9.1	15 3.7
性別	男性	196 100.0	4 2.0	17 8.7	45 23.0	13 6.6	15 7.7	6 3.1
	女性	205 100.0	7 3.4	14 6.8	50 24.4	20 9.8	22 10.7	8 3.9
年齢	～19歳	4 100.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～29歳	21 100.0	0 0.0	1 4.8	6 28.6	1 4.8	2 9.5	0 0.0
	30～39歳	44 100.0	0 0.0	6 13.6	8 18.2	5 11.4	4 9.1	1 2.3
	40～49歳	70 100.0	0 0.0	9 12.9	10 14.3	5 7.1	10 14.3	1 1.4
	50～59歳	59 100.0	1 1.7	1 1.7	10 16.9	3 5.1	5 8.5	5 8.5
	60～69歳	73 100.0	4 5.5	4 5.5	20 27.4	5 6.8	6 8.2	1 1.4
	70～79歳	78 100.0	5 6.4	2 2.6	24 30.8	8 10.3	7 9.0	6 7.7
	80歳以上	56 100.0	2 3.6	8 14.3	17 30.4	7 12.5	3 5.4	1 1.8

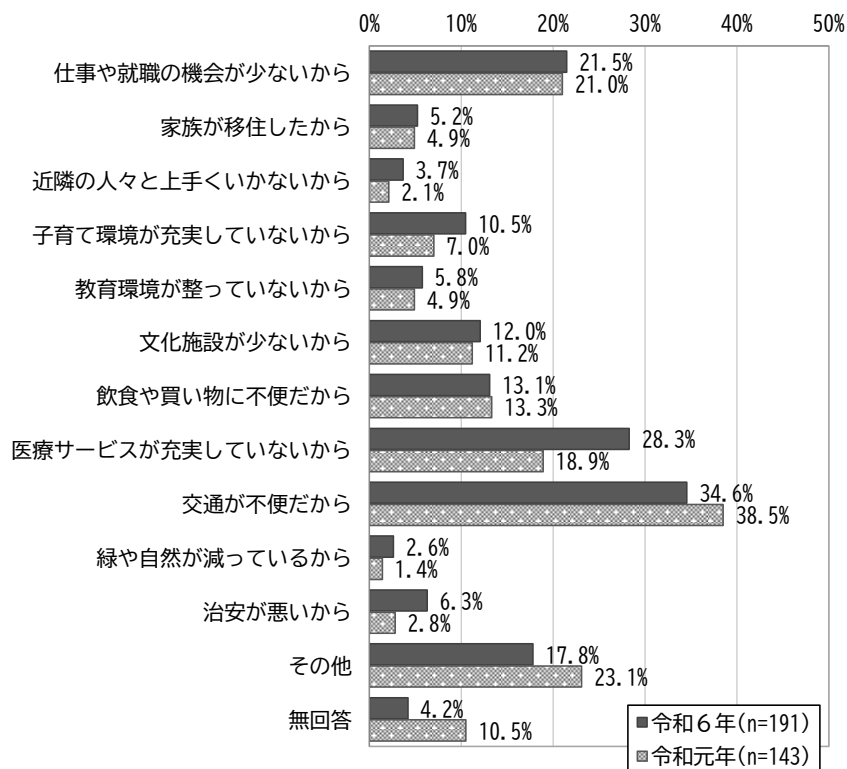
⑤-1 割合の多い項目は、茂原市の強みとして、今後も維持・強化していくとともに、内外に向けたPRが必要。

⑤-2 移住したい理由【複数回答】＊2つまで

○「交通が不便だから」が34.6%で最も多くなっている。

●前回調査に比べて「医療サービスが充実していないから」が9.4ポイント、「子育て環境が充実していないから」が3.5ポイント増加している。一方、「交通が不便だから」は3.9ポイント減少している。

●年代別にみると、“20～29 歳”では「仕事や就職の機会が少ないから」が42.9%、“30～39 歳”では「子育て環境が充実していないから」が30.6%で最も多く、他の世代に比べても高い結果となっている。



【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	仕事や就 職の機会 が少ない から	家族が移 住したか ら	近隣の 人々と上 手くいか ないから	子育て環 境が充実 していな いから	教育環境 がよいか ら	文化施設 が少ない から	飲食や買 い物に不 便だから
全体		191 100.0	41 21.5	10 5.2	7 3.7	20 10.5	11 5.8	23 12.0	25 13.1
性別	男性	93 100.0	22 23.7	1 1.1	5 5.4	6 6.5	6 6.5	10 10.8	5 5.4
	女性	94 100.0	19 20.2	8 8.5	2 2.1	14 14.9	5 5.3	13 13.8	19 20.2
年齢	～19歳	4 100.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	20～29歳	28 100.0	12 42.9	0 0.0	1 3.6	3 10.7	2 7.1	5 17.9	4 14.3
	30～39歳	36 100.0	4 11.1	1 2.8	1 2.8	11 30.6	5 13.9	3 8.3	1 2.8
	40～49歳	47 100.0	14 29.8	0 0.0	1 2.1	5 10.6	4 8.5	5 10.6	7 14.9
	50～59歳	31 100.0	7 22.6	1 3.2	3 9.7	1 3.2	0 0.0	2 6.5	4 12.9
	60～69歳	34 100.0	3 8.8	7 20.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	7 20.6	4 11.8
	70～79歳	7 100.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6
	80歳以上	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7

【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	医療サー ビスが充 実してい ないから	交通が不 便だから	緑や自然 が減って いるから	治安が悪 いから	その他	無回答
全体		191 100.0	54 28.3	66 34.6	5 2.6	12 6.3	34 17.8	8 4.2
性別	男性	93 100.0	28 30.1	30 32.3	5 5.4	7 7.5	19 20.4	4 4.3
	女性	94 100.0	23 24.5	35 37.2	0 0.0	4 4.3	15 16.0	4 4.3
年齢	～19歳	4 100.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20～29歳	28 100.0	2 7.1	11 39.3	1 3.6	1 3.6	3 10.7	1 3.6
	30～39歳	36 100.0	6 16.7	8 22.2	1 2.8	2 5.6	10 27.8	1 2.8
	40～49歳	47 100.0	14 29.8	16 34.0	1 2.1	6 12.8	8 17.0	1 2.1
	50～59歳	31 100.0	14 45.2	11 35.5	0 0.0	1 3.2	5 16.1	4 12.9
	60～69歳	34 100.0	15 44.1	11 32.4	1 2.9	0 0.0	5 14.7	1 2.9
	70～79歳	7 100.0	2 28.6	4 57.1	1 14.3	1 14.3	2 28.6	0 0.0
	80歳以上	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0

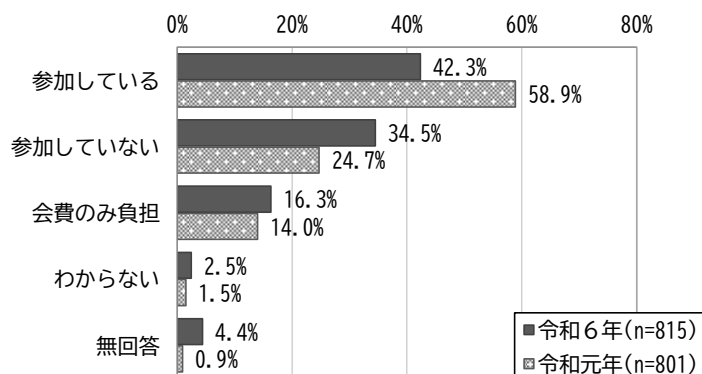
⑤-2 移住したい理由は、年代によってばらつきが見られるため、各年代のニーズに沿った取り組みの充実を図ることが必要。

⑥自治会や町内会の活動への参加【単数回答】

○「参加している」と回答した人は42.3%となっている。

●前回調査と比べて、「参加している」が16.6ポイントと大きく減少している。

●年齢別にみると、40歳代以下では「参加していない」、50歳代以上では「参加している」が最も多くなっている。



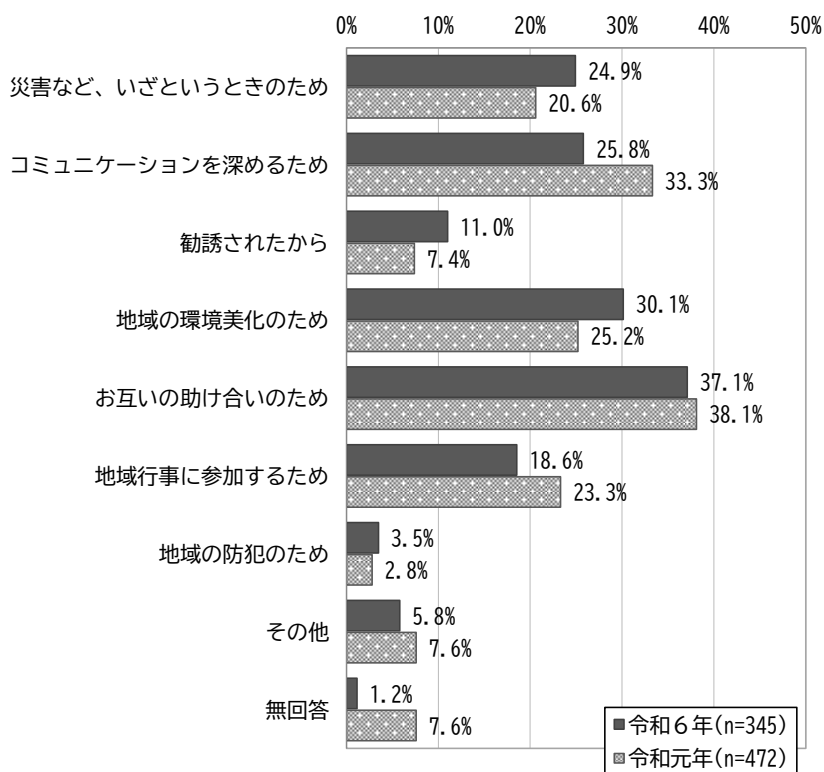
【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	参加して いる	参加して いない	会費のみ 負担	わからな い	無回答
全体		815 100.0	345 42.3	281 34.5	133 16.3	20 2.5	36 4.4
性別	男性	370 100.0	160 43.2	134 36.2	63 17.0	9 2.4	4 1.1
	女性	407 100.0	179 44.0	143 35.1	69 17.0	11 2.7	5 1.2
年齢	～19歳	11 100.0	1 9.1	8 72.7	0 0.0	2 18.2	0 0.0
	20～29歳	64 100.0	15 23.4	37 57.8	7 10.9	5 7.8	0 0.0
	30～39歳	104 100.0	23 22.1	53 51.0	22 21.2	4 3.8	2 1.9
	40～49歳	160 100.0	59 36.9	73 45.6	23 14.4	4 2.5	1 0.6
	50～59歳	126 100.0	55 43.7	45 35.7	23 18.3	2 1.6	1 0.8
	60～69歳	143 100.0	89 62.2	31 21.7	23 16.1	0 0.0	0 0.0
	70～79歳	110 100.0	74 67.3	16 14.5	16 14.5	1 0.9	3 2.7
	80歳以上	66 100.0	28 42.4	17 25.8	19 28.8	2 3.0	0 0.0

⑥コロナ禍の影響による地域のつながりの希薄化が懸念されるなか、自治会や町内会の活動に参加していると回答した人が大きく減少している。特に20～40歳代で参加している人は2～3割程度にとどまっており、様々な世代が参加しやすい体制づくりが必要。

⑥-1 参加した理由【複数回答】＊2つまで

○「お互いの助け合いのため」が 37.1%で最も多くなっている。

●前回調査と比べて、「地域の環境美化のため」が 4.9 ポイント、「災害など、いざという時のため」が 4.3 ポイント増加している一方、「コミュニケーションを深めるため」が 7.5 ポイント、「地域行事に参加するため」が 4.7 ポイント減少している。

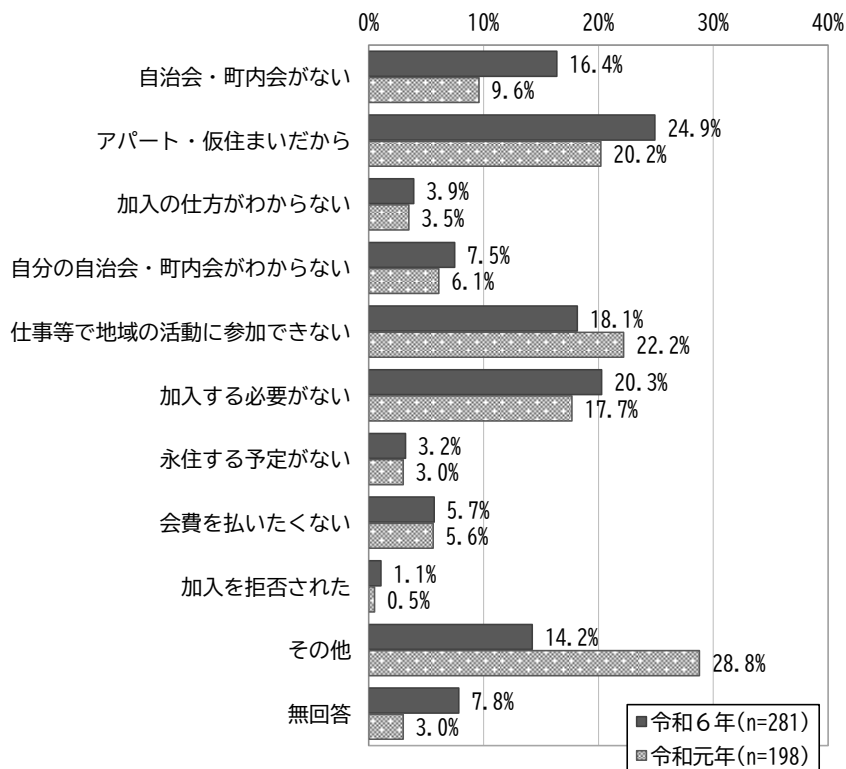


⑥-1 前回調査に比べて、コミュニケーションや地域行事への参加といった地域の交流に関する理由から、災害対策や環境美化といった地域の具体的な課題解決を理由に参加する人が増加している。

⑥-1 参加していない理由【複数回答】＊2つまで

○「アパート・仮住まいだから」が24.9%で最も多くなっている。

●前回調査と比べて、「自治会・町内会がない」が6.8ポイント、「アパート・仮住まいだから」が4.7ポイント増加している一方、「仕事等で地域の活動に参加できない」が4.1ポイント減少している。



⑥-1 前回調査に比べて、自治会・町内会がないと回答した人が大きく増加している。自治会・町内会がわからないと回答した人も増加していることから、加入に向けた周知啓発の強化が必要。

茂原市のイメージについて

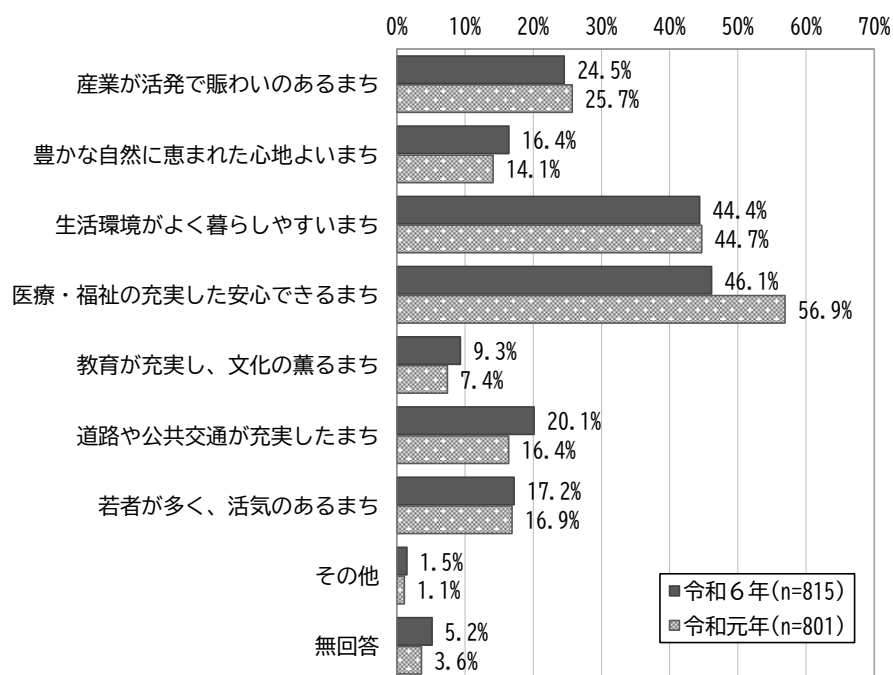
⑦ 5年後の茂原市【複数回答】＊2つまで

○「医療・福祉の充実した安心できるまち」が46.1%で最も多くなっている。

●「医療・福祉の充実した安心できるまち」は今回調査で最も多いものの、前回調査と比べて10.8ポイント減少している。一方、「道路や公共交通が充実したまち」は3.7ポイント増加している。

●性別にみると、男性では女性に比べて「産業が活発で賑わいのあるまち」、女性では男性に比べて「医療・福祉の充実した安心できるまち」がそれぞれ10ポイント以上高くなっている。

●年齢別にみると、「道路や公共交通が充実したまち」は、“～19歳”が27.3%、“20～29歳”が37.5%で他の年代に比べて高くなっている。



【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	産業が活 発で賑わ いのある まち	豊かな自 然に恵ま れた心地 よいまち	生活環境 がよく暮 らしやす いまち	医療・福 祉の充実 した安心 できるま ち	教育が充 実し、文 化の薫る まち	道路や公 共交通が 充実した まち	若者が多 く、活気 のあるま ち	その他	無回答
全体		815 100.0	200 24.5	134 16.4	362 44.4	376 46.1	76 9.3	164 20.1	140 17.2	12 1.5	42 5.2
性 別	男性	370 100.0	115 31.1	66 17.8	163 44.1	138 37.3	45 12.2	79 21.4	71 19.2	6 1.6	8 2.2
	女性	407 100.0	84 20.6	66 16.2	196 48.2	233 57.2	30 7.4	81 19.9	66 16.2	5 1.2	7 1.7
年 齢	～19歳	11 100.0	2 18.2	3 27.3	4 36.4	2 18.2	1 9.1	3 27.3	2 18.2	0 0.0	1 9.1
	20～29歳	64 100.0	7 10.9	11 17.2	40 62.5	15 23.4	10 15.6	24 37.5	15 23.4	1 1.6	1 1.6
	30～39歳	104 100.0	17 16.3	23 22.1	51 49.0	37 35.6	23 22.1	16 15.4	24 23.1	2 1.9	2 1.9
	40～49歳	160 100.0	40 25.0	26 16.3	75 46.9	77 48.1	21 13.1	34 21.3	24 15.0	4 2.5	2 1.3
	50～59歳	126 100.0	41 32.5	21 16.7	63 50.0	59 46.8	5 4.0	25 19.8	20 15.9	2 1.6	1 0.8
	60～69歳	143 100.0	46 32.2	21 14.7	59 41.3	85 59.4	8 5.6	28 19.6	21 14.7	2 1.4	1 0.7
	70～79歳	110 100.0	28 25.5	21 19.1	43 39.1	59 53.6	5 4.5	18 16.4	26 23.6	0 0.0	4 3.6
	80歳以上	66 100.0	19 28.8	8 12.1	26 39.4	40 60.6	3 4.5	15 22.7	8 12.1	1 1.5	1 1.5
居 住 意 向	これからもずっと茂原 市内に住み続けたい	386 100.0	116 30.1	70 18.1	177 45.9	194 50.3	36 9.3	68 17.6	68 17.6	3 0.8	3 0.8
	いったん離れるかもし れないが、いずれは	19 100.0	2 10.5	6 31.6	7 36.8	7 36.8	5 26.3	5 26.3	4 21.1	1 5.3	0 0.0
	今後、市外へ転出する かもしれない	123 100.0	34 27.6	22 17.9	52 42.3	54 43.9	12 9.8	31 25.2	16 13.0	4 3.3	3 2.4
	市外に転出したい	68 100.0	18 26.5	8 11.8	25 36.8	26 38.2	9 13.2	20 29.4	17 25.0	2 2.9	1 1.5
	わからない	182 100.0	28 15.4	28 15.4	98 53.8	92 50.5	13 7.1	40 22.0	33 18.1	2 1.1	4 2.2

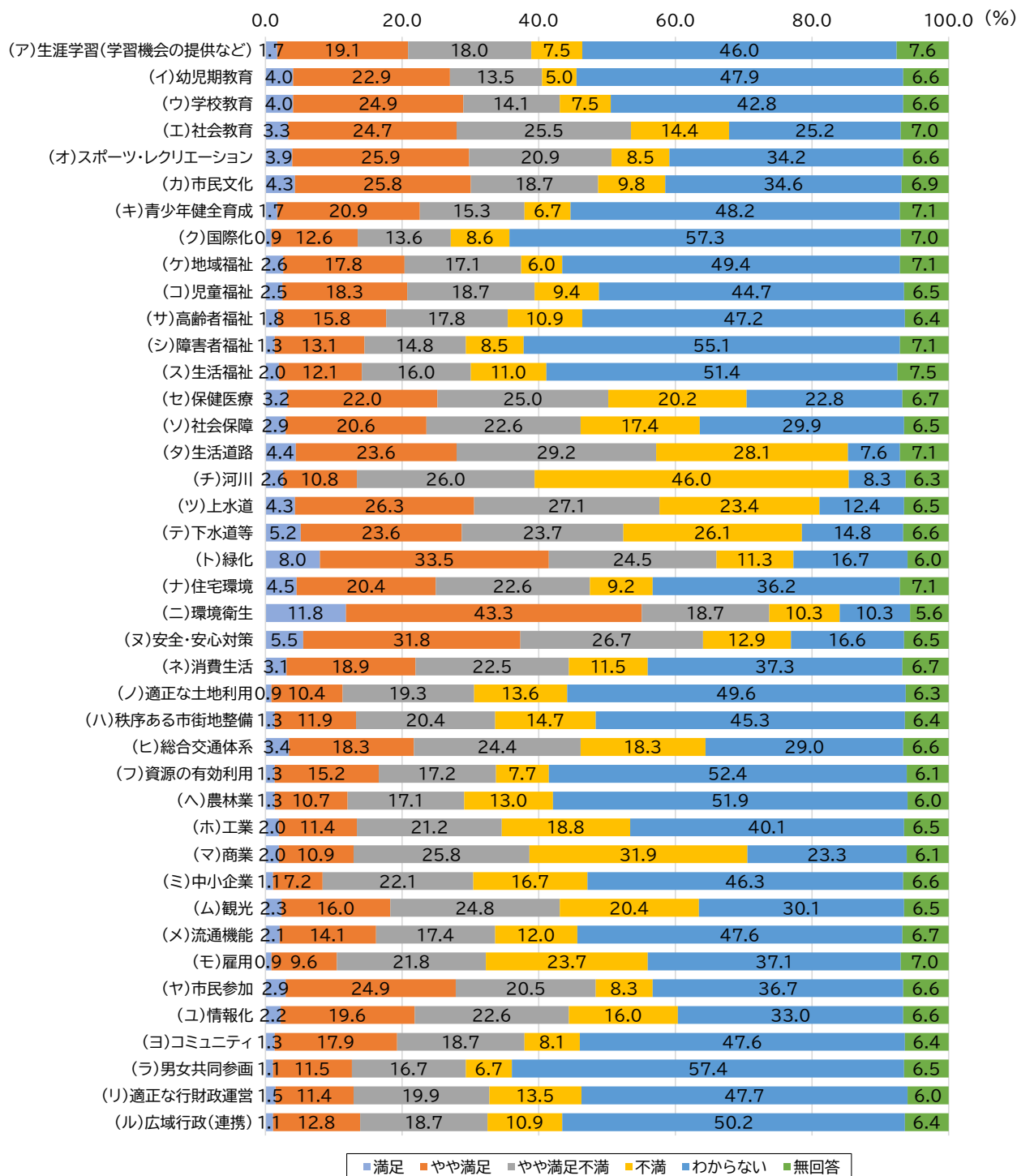
⑦直近のまちづくりの推進に向けて、「医療福祉」「生活環境」分野の充実が望まれている。

市政全般について

⑧これからの市に必要な施策【単数回答】

○「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』の割合が最も多いのは“(二)環境衛生”で55.1%となっている。

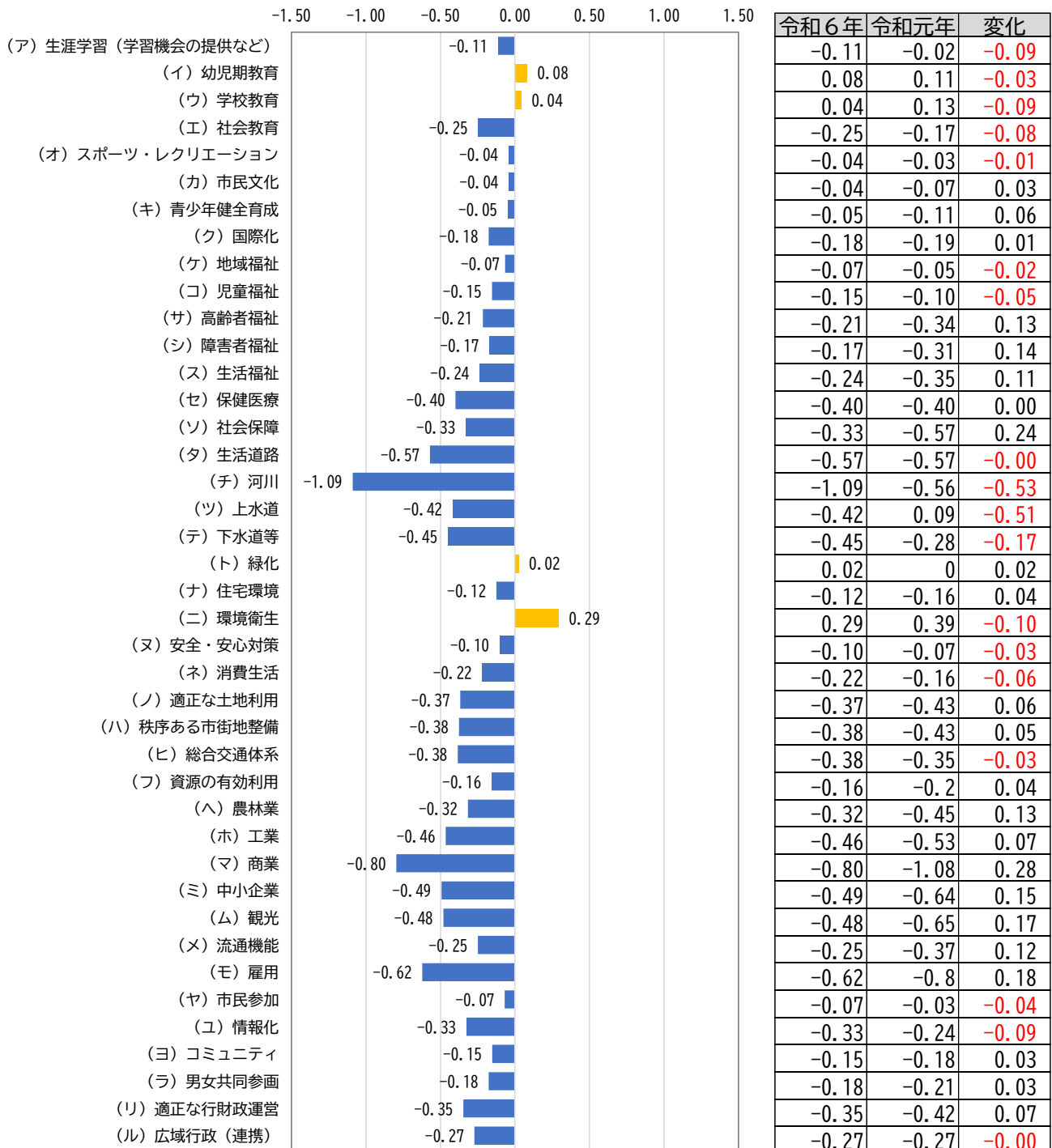
○「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』の割合が最も多いのは“(チ)河川”となっている。



○各施策の満足度について、加重平均による評価点を算出した結果は以下のとおり。

算出方法

$$\text{評価点} = \frac{(\text{満足} \times 2 + \text{やや満足} \times 1 + \text{やや不満} \times -1 + \text{不満} \times -2 + \text{わからない} \times 0)}{\text{回答者数（無回答を除く）}}$$

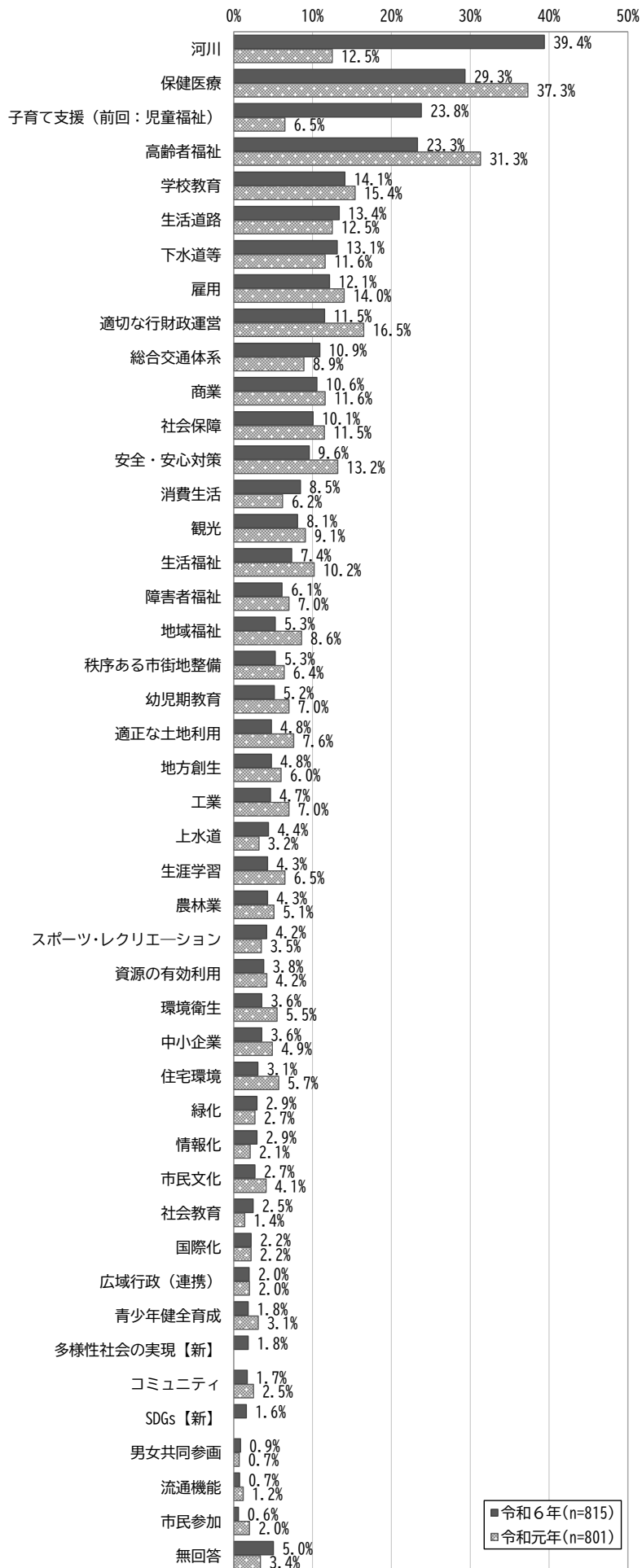


⑨今後力を入れてほしい分野【複数回答】＊4 つまで

○「河川」が39.4%で最も多くなっている。

●今回第1位の「河川」は、前回調査に比べて 26.9 ポイントと大きく増加している。一方、前回第1位の「保健医療」は 8.0 ポイント減少して今回は第2位へ、前回第2位の「高齢者福祉」も8.0ポイント減少して今回は第4位となっている。「子育て支援（前回：児童福祉）」については、選択肢の名称を変更した影響もあるが、前回から 17.3 ポイント増加し、今回は第3位となっている。

●年齢別にみると、“～19歳”では「生活道路」や「総合交通体系」といった移動・交通に関するニーズが高くなっている。20～30歳代では「子育て支援」、40～60歳代では「河川」、70歳以上では「高齢者福祉」が最も多く、年代ごとに異なるニーズがうかがえる。



【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	生涯学習	幼児期教育	学校教育	社会教育	スポーツ・レクリエーション	市民文化	青少年健全育成	国際化	地域福祉	子育て支援	高齢者福祉	障害者福祉	生活福祉	保健医療
全体		815 100.0	35 4.3	42 5.2	115 14.1	20 2.5	34 4.2	22 2.7	15 1.8	18 2.2	43 5.3	194 23.8	190 23.3	50 6.1	60 7.4	239 29.3
性別	男性	370 100.0	12 3.2	13 3.5	58 15.7	14 3.8	22 5.9	7 1.9	9 2.4	9 2.4	15 4.1	75 20.3	82 22.2	22 5.9	32 8.6	90 24.3
	女性	407 100.0	23 5.7	28 6.9	56 13.8	6 1.5	11 2.7	15 3.7	5 1.2	9 2.2	26 6.4	116 28.5	105 25.8	25 6.1	26 6.4	145 35.6
年齢	～19歳	11 100.0	1 9.1	0 0.0	2 18.2	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2	1 9.1	1 9.1
	20～29歳	64 100.0	2 3.1	4 6.3	14 21.9	2 3.1	3 4.7	0 0.0	1 1.6	2 3.1	0 0.0	29 45.3	3 4.7	2 3.1	1 1.6	14 21.9
	30～39歳	104 100.0	3 2.9	21 20.2	32 30.8	7 6.7	8 7.7	2 1.9	1 1.0	4 3.8	3 2.9	54 51.9	8 7.7	3 2.9	3 2.9	24 23.1
	40～49歳	160 100.0	5 3.1	6 3.8	24 15.0	4 2.5	10 6.3	5 3.1	5 3.1	3 1.9	11 6.9	54 33.8	19 11.9	15 9.4	12 7.5	54 33.8
	50～59歳	126 100.0	8 6.3	3 2.4	13 10.3	2 1.6	6 4.8	3 2.4	1 0.8	2 1.6	7 5.6	18 14.3	33 26.2	8 6.3	14 11.1	39 31.0
	60～69歳	143 100.0	5 3.5	4 2.8	13 9.1	3 2.1	3 2.1	5 3.5	4 2.8	4 2.8	9 6.3	17 11.9	43 30.1	7 4.9	5 3.5	56 39.2
	70～79歳	110 100.0	9 8.2	1 0.9	13 11.8	1 0.9	2 1.8	4 3.6	2 1.8	2 1.8	9 8.2	13 11.8	46 41.8	10 9.1	15 13.6	33 30.0
	80歳以上	66 100.0	2 3.0	3 4.5	4 6.1	0 0.0	2 3.0	3 4.5	1 1.5	0 0.0	4 6.1	9 13.6	37 56.1	3 4.5	8 12.1	17 25.8
居住意向	これからもずっと茂原市内に住み続けたい	386 100.0	21 5.4	23 6.0	59 15.3	5 1.3	17 4.4	15 3.9	7 1.8	10 2.6	25 6.5	91 23.6	114 29.5	24 6.2	28 7.3	111 28.8
	いったん離れるかもしれないが、いずれは今後、市外へ転出するかもしれない	19 100.0	3 15.8	1 5.3	3 15.8	2 10.5	1 5.3	0 0.0	0 0.0	2 10.5	1 5.3	3 15.8	1 5.3	2 10.5	1 5.3	4 21.1
	今後、市外へ転出するかもしれない	123 100.0	5 4.1	5 4.1	21 17.1	9 7.3	8 6.5	2 1.6	4 3.3	2 1.6	4 3.3	29 23.6	21 17.1	7 5.7	10 8.1	40 32.5
	市外に転出したい	68 100.0	0 0.0	4 5.9	10 14.7	2 2.9	2 2.9	4 5.9	1 1.5	2 2.9	2 2.9	18 26.5	7 10.3	5 7.4	3 4.4	26 38.2
	わからない	182 100.0	6 3.3	9 4.9	22 12.1	2 1.1	6 3.3	1 0.5	3 1.6	2 1.1	9 4.9	53 29.1	42 23.1	11 6.0	17 9.3	56 30.8

【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	社会保障	生活道路	河川	上水道	下水道等	緑化	住宅環境	環境衛生	安全・安心対策	消費生活	適正な土地利用	秩序ある市街地整備	総合交通体系	資源の有効利用
全体		815 100.0	82 10.1	109 13.4	321 39.4	36 4.4	107 13.1	24 2.9	25 3.1	29 3.6	78 9.6	69 8.5	39 4.8	43 5.3	89 10.9	31 3.8
性別	男性	370 100.0	35 9.5	57 15.4	158 42.7	20 5.4	56 15.1	8 2.2	13 3.5	14 3.8	29 7.8	34 9.2	20 5.4	24 6.5	36 9.7	18 4.9
	女性	407 100.0	46 11.3	51 12.5	160 39.3	14 3.4	49 12.0	15 3.7	11 2.7	15 3.7	47 11.5	34 8.4	19 4.7	18 4.4	51 12.5	13 3.2
年齢	～19歳	11 100.0	0 0.0	3 27.3	2 18.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 9.1	1 9.1	0 0.0	1 9.1	3 27.3	0 0.0
	20～29歳	64 100.0	9 14.1	14 21.9	28 43.8	3 4.7	4 6.3	4 6.3	5 7.8	3 4.7	7 10.9	6 9.4	3 4.7	2 3.1	6 9.4	2 3.1
	30～39歳	104 100.0	11 10.6	16 15.4	40 38.5	3 2.9	11 10.6	9 8.7	7 6.7	3 2.9	13 12.5	9 8.7	4 3.8	3 2.9	5 4.8	4 3.8
	40～49歳	160 100.0	17 10.6	31 19.4	74 46.3	7 4.4	18 11.3	4 2.5	4 2.5	6 3.8	13 8.1	11 6.9	5 3.1	11 6.9	19 11.9	5 3.1
	50～59歳	126 100.0	14 11.1	15 11.9	58 46.0	9 7.1	18 14.3	4 3.2	4 3.2	6 4.8	10 7.9	12 9.5	4 3.2	8 6.3	14 11.1	3 2.4
	60～69歳	143 100.0	18 12.6	9 6.3	59 41.3	7 4.9	26 18.2	2 1.4	4 2.8	6 4.2	22 15.4	18 12.6	11 7.7	10 7.0	21 14.7	7 4.9
	70～79歳	110 100.0	8 7.3	9 8.2	43 39.1	4 3.6	15 13.6	1 0.9	0 0.0	3 2.7	8 7.3	8 7.3	10 9.1	4 3.6	13 11.8	6 5.5
	80歳以上	66 100.0	4 6.1	11 16.7	16 24.2	2 3.0	13 19.7	0 0.0	0 0.0	2 3.0	3 4.5	4 6.1	2 3.0	4 6.1	8 12.1	4 6.1
居住意向	これからもずっと茂原市内に住み続けたい	386 100.0	40 10.4	40 10.4	177 45.9	14 3.6	55 14.2	9 2.3	9 2.3	11 2.8	32 8.3	33 8.5	20 5.2	15 3.9	35 9.1	15 3.9
	いったん離れるかもしれないが、今後、市外へ転出するかもしれない	19 100.0	3 15.8	1 5.3	4 21.1	2 10.5	1 5.3	1 5.3	0 0.0	0 0.0	3 15.8	0 0.0	0 0.0	1 5.3	3 15.8	0 0.0
	今後、市外へ転出するかもしれない	123 100.0	15 12.2	21 17.1	45 36.6	10 8.1	17 13.8	6 4.9	3 2.4	6 4.9	10 8.1	12 9.8	7 5.7	14 11.4	18 14.6	5 4.1
	市外に転出したい	68 100.0	8 11.8	9 13.2	24 35.3	2 2.9	7 10.3	1 1.5	3 4.4	3 4.4	7 10.3	9 13.2	2 2.9	4 5.9	16 23.5	1 1.5
	わからない	182 100.0	15 8.2	38 20.9	66 36.3	8 4.4	27 14.8	7 3.8	10 5.5	9 4.9	26 14.3	15 8.2	10 5.5	9 4.9	17 9.3	10 5.5

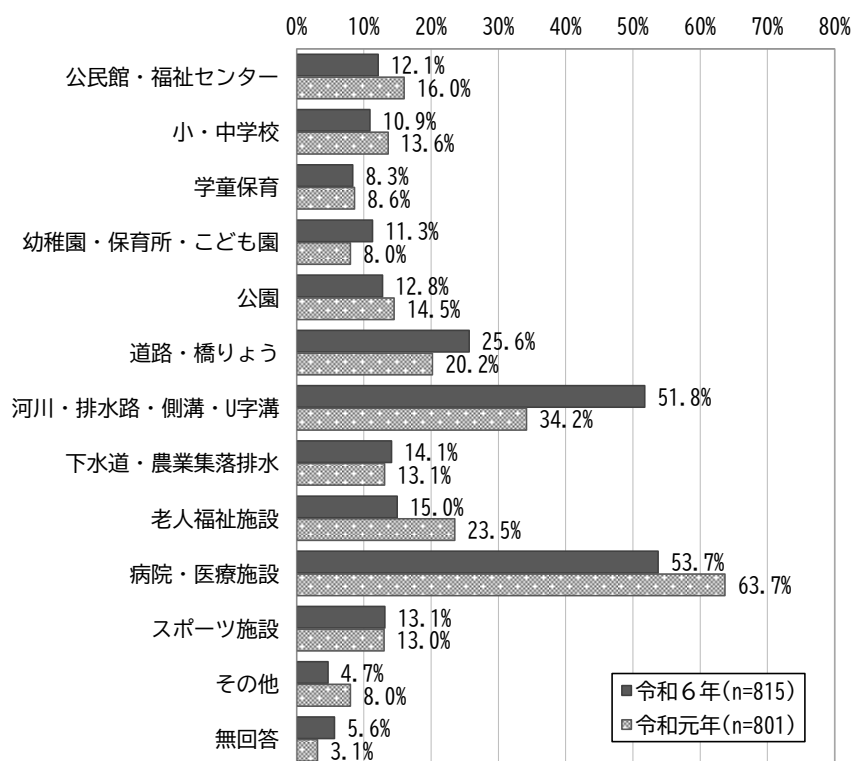
【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	農林業	工業	商業	中小企業	観光	流通機能	雇用	市民参加	情報化	コミュニ ティ	男女共同 参画	適切な行 財政運営	広域行政 （連携）	地方創生
全体		815 100.0	35 4.3	38 4.7	86 10.6	29 3.6	66 8.1	6 0.7	99 12.1	5 0.6	24 2.9	14 1.7	7 0.9	94 11.5	16 2.0	39 4.8
性別	男性	370 100.0	15 4.1	29 7.8	46 12.4	18 4.9	36 9.7	1 0.3	48 13.0	2 0.5	16 4.3	6 1.6	1 0.3	45 12.2	13 3.5	24 6.5
	女性	407 100.0	20 4.9	9 2.2	39 9.6	11 2.7	29 7.1	5 1.2	50 12.3	2 0.5	8 2.0	8 2.0	4 1.0	48 11.8	3 0.7	15 3.7
年齢	～19歳	11 100.0	0 0.0	0 0.0	2 18.2	0 0.0	2 18.2	0 0.0	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0
	20～29歳	64 100.0	2 3.1	2 3.1	7 10.9	4 6.3	13 20.3	0 0.0	10 15.6	0 0.0	8 12.5	2 3.1	1 1.6	5 7.8	0 0.0	3 4.7
	30～39歳	104 100.0	5 4.8	1 1.0	16 15.4	2 1.9	11 10.6	0 0.0	10 9.6	0 0.0	2 1.9	1 1.0	3 2.9	11 10.6	1 1.0	0 0.0
	40～49歳	160 100.0	6 3.8	3 1.9	16 10.0	5 3.1	13 8.1	2 1.3	25 15.6	0 0.0	5 3.1	2 1.3	0 0.0	24 15.0	3 1.9	8 5.0
	50～59歳	126 100.0	5 4.0	10 7.9	20 15.9	8 6.3	9 7.1	2 1.6	24 19.0	1 0.8	2 1.6	2 1.6	1 0.8	11 8.7	2 1.6	9 7.1
	60～69歳	143 100.0	8 5.6	9 6.3	15 10.5	6 4.2	6 4.2	0 0.0	19 13.3	0 0.0	3 2.1	3 2.1	1 0.7	25 17.5	2 1.4	6 4.2
	70～79歳	110 100.0	7 6.4	8 7.3	6 5.5	2 1.8	7 6.4	1 0.9	7 6.4	3 2.7	2 1.8	3 2.7	0 0.0	11 10.0	6 5.5	9 8.2
	80歳以上	66 100.0	2 3.0	5 7.6	4 6.1	2 3.0	5 7.6	1 1.5	3 4.5	0 0.0	2 3.0	1 1.5	0 0.0	5 7.6	2 3.0	4 6.1
居住意向	これからずっと茂原 市内に住み続けたい	386 100.0	22 5.7	23 6.0	39 10.1	14 3.6	37 9.6	4 1.0	40 10.4	3 0.8	9 2.3	8 2.1	3 0.8	46 11.9	9 2.3	19 4.9
	いったん離れるかもし れないが、いずれは	19 100.0	1 5.3	0 0.0	3 15.8	1 5.3	3 15.8	0 0.0	4 21.1	1 5.3	2 10.5	1 5.3	0 0.0	2 10.5	0 0.0	1 5.3
	今後、市外へ転出する かもしれない	123 100.0	4 3.3	3 2.4	15 12.2	2 1.6	4 3.3	1 0.8	18 14.6	1 0.8	5 4.1	0 0.0	2 1.6	14 11.4	1 0.8	8 6.5
	市外に転出したい	68 100.0	2 2.9	2 2.9	8 11.8	4 5.9	4 5.9	0 0.0	11 16.2	0 0.0	2 2.9	2 2.9	0 0.0	14 20.6	2 2.9	4 5.9
	わからない	182 100.0	6 3.3	9 4.9	21 11.5	7 3.8	17 9.3	1 0.5	25 13.7	0 0.0	6 3.3	3 1.6	2 1.1	18 9.9	4 2.2	7 3.8

【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	SDGs	多様性社 会の実現	無回答
全体		815 100.0	13 1.6	15 1.8	41 5.0
性別	男性	370 100.0	8 2.2	8 2.2	6 1.6
	女性	407 100.0	5 1.2	7 1.7	9 2.2
年齢	～19歳	11 100.0	1 9.1	3 27.3	0 0.0
	20～29歳	64 100.0	0 0.0	3 4.7	0 0.0
	30～39歳	104 100.0	0 0.0	1 1.0	0 0.0
	40～49歳	160 100.0	5 3.1	4 2.5	0 0.0
	50～59歳	126 100.0	2 1.6	0 0.0	1 0.8
	60～69歳	143 100.0	3 2.1	3 2.1	2 1.4
	70～79歳	110 100.0	1 0.9	1 0.9	6 5.5
	80歳以上	66 100.0	1 1.5	0 0.0	4 6.1
居住意向	これからずっと茂原 市内に住み続けたい	386 100.0	5 1.3	2 0.5	9 2.3
	いったん離れるかもし れないが、いずれは	19 100.0	0 0.0	3 15.8	0 0.0
	今後、市外へ転出する かもしれない	123 100.0	3 2.4	3 2.4	0 0.0
	市外に転出したい	68 100.0	0 0.0	3 4.4	0 0.0
	わからない	182 100.0	5 2.7	4 2.2	2 1.1

⑩充実してほしい施設・サービス【複数回答】＊3 つまで

○「病院・医療施設」が 53.7%で最も多くなっている。

●前回調査に比べて、「河川・排水路・側溝・U 字溝」が 17.6 ポイントと大きく増加している。一方、「病院・医療施設」が 10.0 ポイント、「老人福祉施設」が 8.5 ポイント減少している。

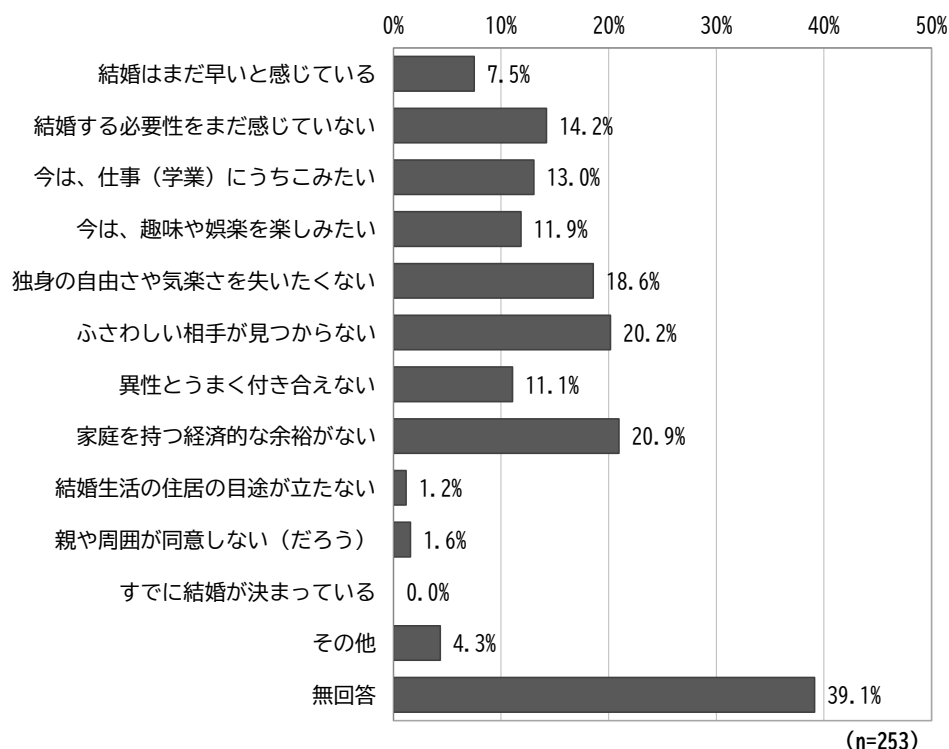


⑧⑨⑩施策の満足度や重要度、今後充実してほしい施設をみると、令和元年・令和5年に発生した浸水被害の影響を受け、河川対策の充実に対するニーズの高まりが顕著に表れている。また、前回調査に引き続き、保健医療に対するニーズの高さがうかがえる。

～結婚に関する意向～

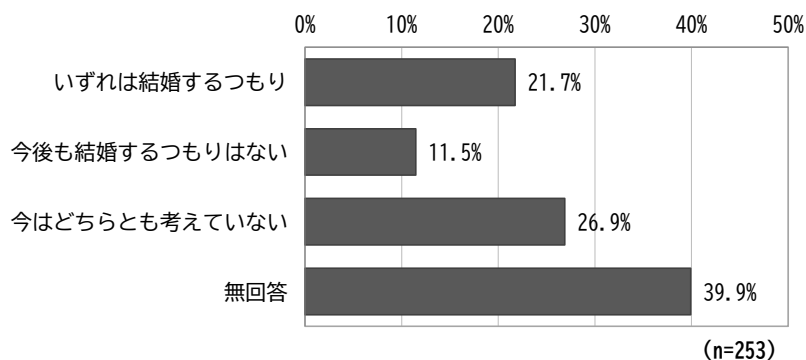
⑪独身でいる理由【複数回答】＊3 つまで

○「家庭を持つ経済的な余裕がない」が 20.9%で最も多くなっている。



⑫今後の結婚に関する意向【単数回答】

○「いずれは結婚するつもり」と回答した人は 21.7%となっている。



⑪⑫現在独身の人のうち、現在結婚の意向がある人は約2割にとどまっている。「家庭を持つ経済的な余裕がない」、「ふさわしい相手が見つからない」といった独身でいることの上位にあげられている理由について重点的なサポートを行う等、結婚を希望する若い世代に向けた効果的な支援が必要。

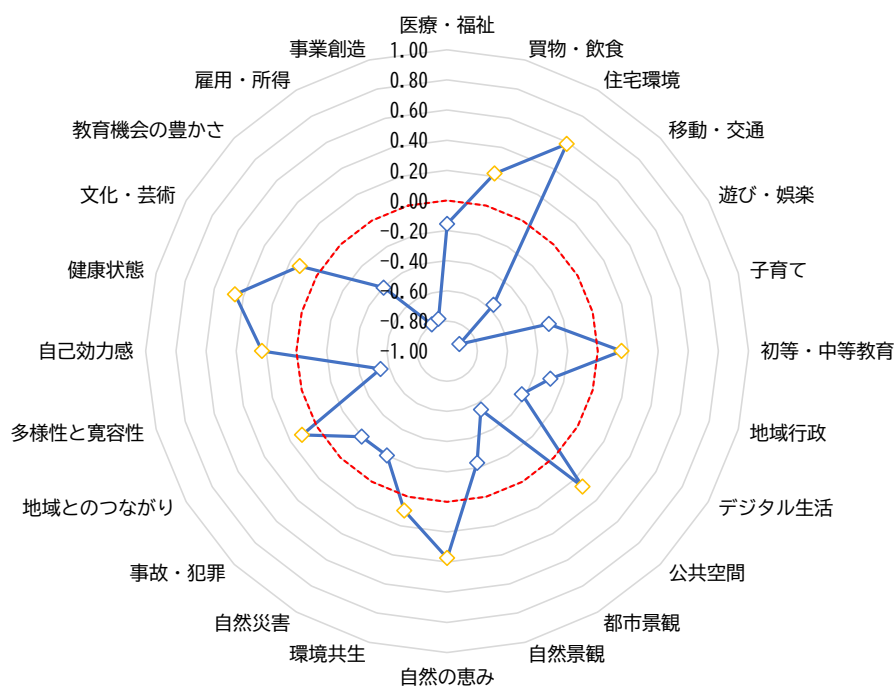
暮らしやすさの幸福度（Well-being）について

～レーダーチャート～

○幸福度（Well-being）に関する設問について、加重平均による評価点を算出した結果は以下のとおり。

算出方法

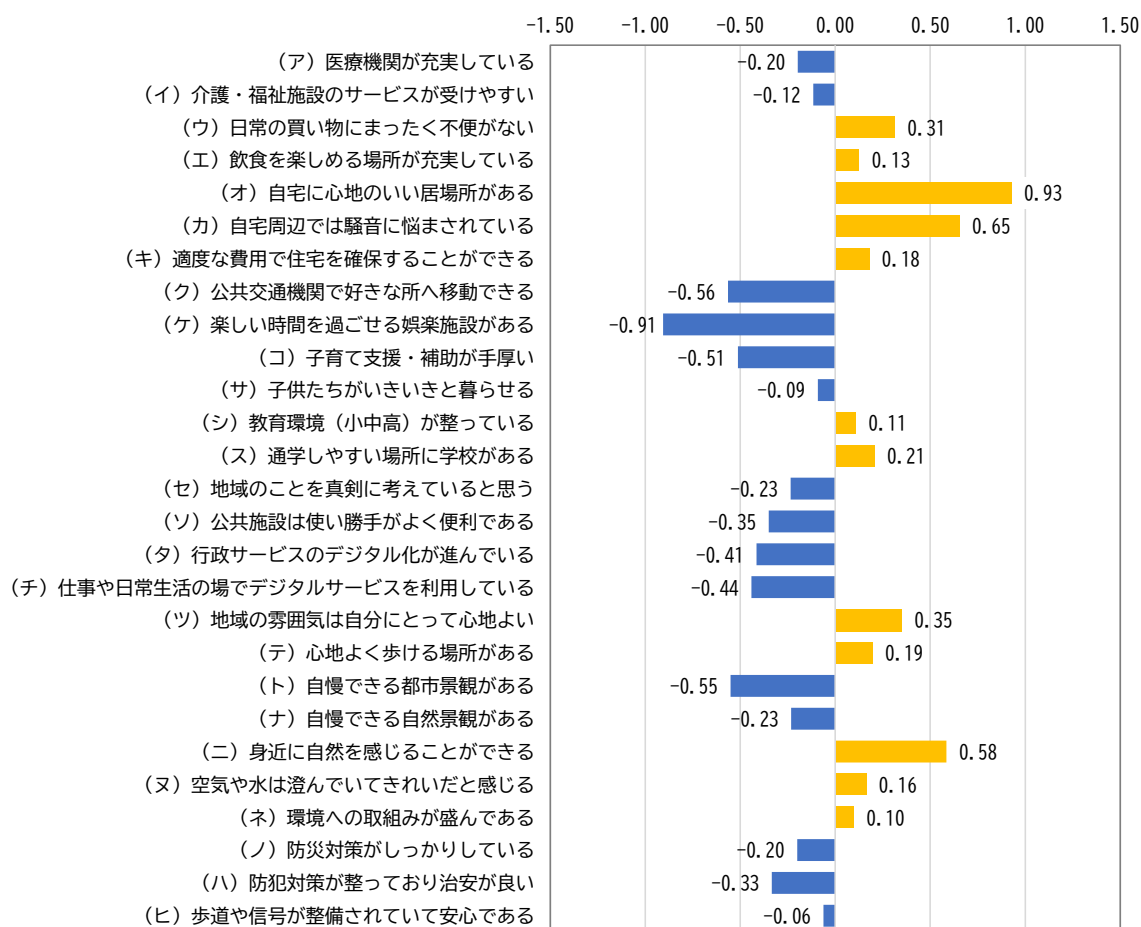
$$\text{評価点} = \frac{\begin{aligned} &(\text{とても幸せ／とても満足／非常にあてはまる} \times 2 + \\ &\text{ある程度幸せ／ある程度満足／ある程度あてはまる} \times 1 + \\ &\text{どちらとも言えない} \times 0 + \\ &\text{あまり幸せではない／あまり満足していない／あまりあてはまらない} \times -1 + \\ &\text{全く幸せではない／全く満足していない／全くあてはまらない} \times -2) \end{aligned}}{\text{回答者数（無回答を除く）}}$$



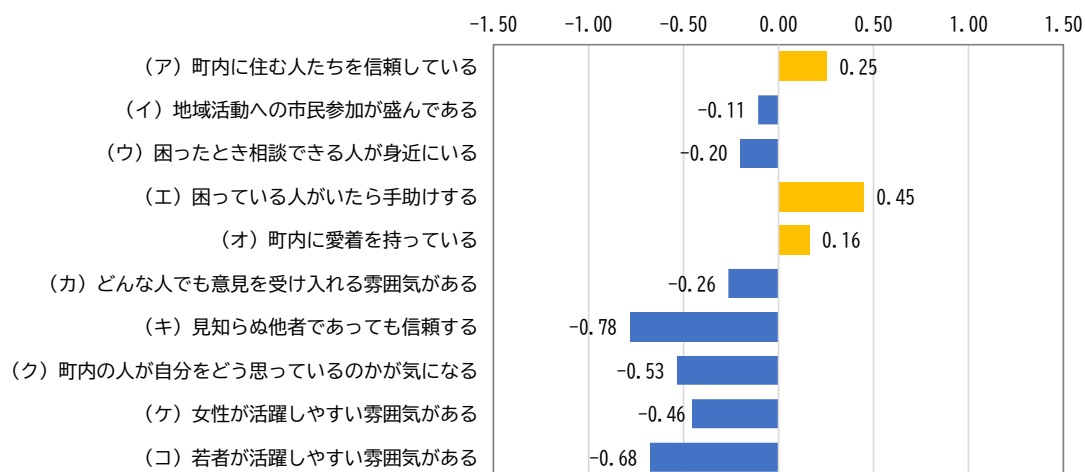
生活環境	医療・福祉	買物・飲食	住宅環境	移動・交通	遊び・娯楽	子育て	初等・中等教育	地域行政
	-0.16	0.22	0.59	-0.56	-0.91	-0.30	0.16	-0.29
	デジタル生活	公共空間	都市景観	自然景観	自然の恵み	環境共生	自然災害	事故・犯罪
	-0.43	0.27	-0.55	-0.23	0.37	0.10	-0.20	-0.20
人間関係	地域とのつながり	多様性と寛容性						
	0.11	-0.54						
自分らしい生き方	自己効力感	健康状態	文化・芸術	教育機会の豊かさ	雇用・所得	事業創造		
	0.23	0.46	0.13	-0.40	-0.79	-0.78		

～因子別～

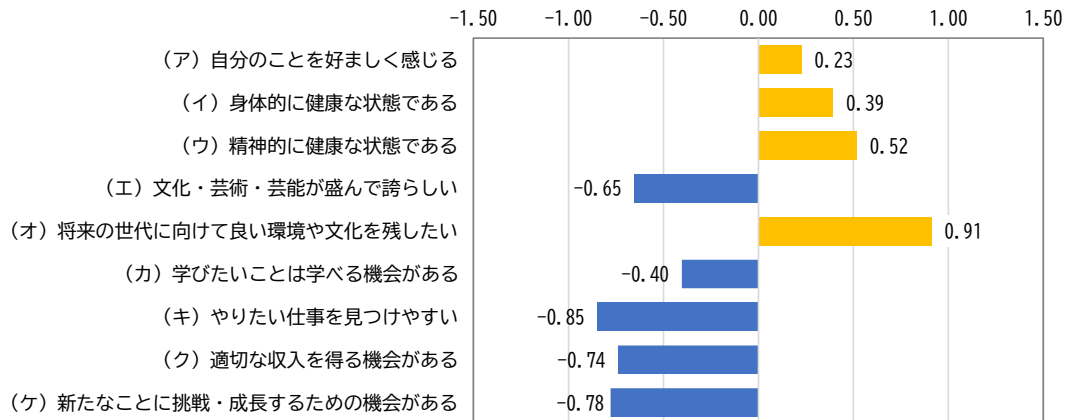
【生活環境】



【地域の人間関係】



【自分らしい生き方】



生活環境

【強み】

＊生活環境の中では、特に「住宅環境」に関する評価が高い。「住宅環境」の良さは、移住定住の促進に向けた大きな強みであることから、今後内外に向けた PR の強化が必要。

＊そのほか、「自然の恵み」や「公共空間」、「買い物・飲食」についても評価が高い。

【弱み】

＊特に「遊び・娯楽」に関する評価が低い。地域の魅力向上のためには、今ある地域資源の有効活用について検討する視点も重要。

＊そのほか、公共交通での移動のしやすさを評価した「移動・交通」、自慢できる都市景観の有無について評価した「都市景観」の評価が低い。

地域の人間関係

＊地域とのつながりについては一定の評価がある一方、女性や若者が活躍しやすい雰囲気があるか等を評価した「多様性と寛容性」が低くなっている。今後、地方創生のさらなる推進のためには、特に女性や若者に選ばれる地方となることが重要であり、ニーズに即した対策の検討が必要。

自分らしい生き方

＊自己効力感や心身ともに健康であると感じている市民が多い様子がうかがえる。一方、「教育機会の豊かさ」や「雇用・所得」、「事業創造」に関する評価が低く、教育や仕事に関する多様な機会の充実が必要。

○「幸福度」及び「生活満足度」の向上に寄与し得る指標やまちづくり分野を見出すため、「幸福度」「生活満足度」を軸として、“Well-being 指標”及び“施策の満足度”との相関分析を行った結果は次のとおり。

【相関関係の程度】

■0.2～0.4 未満(弱い) ■0.4～0.7 未満(中程度) ■0.7 以上(強い)

Well-Being指標			
暮らしの満足度との相関性		幸福度との相関性	
(ツ) 地域の雰囲気は自分にとって心地よい	0.56	(オ) 自宅に心地のいい居場所がある	0.46
(セ) 地域のことを真剣に考えていると思う	0.42	(ウ) 精神的に健康な状態である	0.44
(オ) 町内に愛着を持っている	0.40	(ア) 自分のことを好ましく感じる	0.44
(サ) 子供たちがいきいきと暮らせる	0.40	(イ) 身体的に健康な状態である	0.40
(ヒ) 歩道や信号が整備されていて安心である	0.37	(ツ) 地域の雰囲気は自分にとって心地よい	0.40
(オ) 自宅に心地のいい居場所がある	0.37	(オ) 町内に愛着を持っている	0.33
(ハ) 防犯対策が整っており治安が良い	0.36	(サ) 子供たちがいきいきと暮らせる	0.29
(ノ) 防災対策がしっかりしている	0.36	(ケ) 新たなことに挑戦・成長するための機会がある	0.28
(カ) 学びたいことは学べる機会がある	0.36	(ク) 適切な収入を得る機会がある	0.27
(エ) 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	0.36	(ア) 町内に住む人たちを信頼している	0.27
(ソ) 公共施設は使い勝手がよく便利である	0.36	(ヒ) 歩道や信号が整備されていて安心である	0.26
(ト) 自慢できる都市景観がある	0.36	(カ) どんな人でも意見を受け入れる雰囲気がある	0.26
(テ) 心地よく歩ける場所がある	0.36	(オ) 将来の世代に向けて良い環境や文化を残したい	0.26
(シ) 教育環境(小中高)が整っている	0.35	(セ) 地域のことを真剣に考えていると思う	0.25
(ケ) 新たなことに挑戦・成長するための機会がある	0.35	(キ) 適度な費用で住宅を確保することができる	0.24
(ク) 適切な収入を得る機会がある	0.35	(ノ) 防災対策がしっかりしている	0.24
(キ) やりたい仕事を見つけやすい	0.34	(シ) 教育環境(小中高)が整っている	0.24
(ア) 医療機関が充実している	0.34	(カ) 学びたいことは学べる機会がある	0.24
(ケ) 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	0.33	(ウ) 日常の買い物にまったく不便がない	0.24
(カ) どんな人でも意見を受け入れる雰囲気がある	0.32	(ソ) 公共施設は使い勝手がよく便利である	0.23
(ア) 町内に住む人たちを信頼している	0.32	(テ) 心地よく歩ける場所がある	0.23
(ク) 公共交通機関で好きな所へ移動できる	0.32	(ウ) 困ったとき相談できる人が身近にいる	0.22
(エ) 飲食を楽しめる場所が充実している	0.32	(エ) 飲食を楽しめる場所が充実している	0.22
(コ) 子育て支援・補助が手厚い	0.31	(エ) 困っている人がいたら手助けする	0.22
(ナ) 自慢できる自然景観がある	0.31	(ネ) 環境への取組みが盛んである	0.21
(ウ) 日常の買い物にまったく不便がない	0.30	(ケ) 楽しい時間を過ごせる娯楽施設がある	0.21
(ス) 通学しやすい場所に学校がある	0.30	(ハ) 防犯対策が整っており治安が良い	0.21
(コ) 若者が活躍しやすい雰囲気がある	0.29	(エ) 文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい	0.21
(イ) 介護・福祉施設のサービスが受けやすい	0.29	(コ) 子育て支援・補助が手厚い	0.21
(イ) 身体的に健康な状態である	0.29	(ニ) 身近に自然を感じることができる	0.20
(ネ) 環境への取組みが盛んである	0.28	(キ) やりたい仕事を見つけやすい	0.20
(イ) 地域活動への市民参加が盛んである	0.28	(ト) 自慢できる都市景観がある	0.20
(チ) 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用している	0.27	(ナ) 自慢できる自然景観がある	0.20
(オ) 将来の世代に向けて良い環境や文化を残したい	0.26	(イ) 地域活動への市民参加が盛んである	0.20
(ケ) 女性が活躍しやすい雰囲気がある	0.26	(イ) 介護・福祉施設のサービスが受けやすい	0.20
(キ) 適度な費用で住宅を確保することができる	0.25	(ア) 医療機関が充実している	0.20
(ヌ) 空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	0.25	(ケ) 女性が活躍しやすい雰囲気がある	0.19
(ア) 自分のことを好ましく感じる	0.25	(ヌ) 空気や水は澄んでいてきれいだと感じる	0.19
(ウ) 精神的に健康な状態である	0.24	(ク) 公共交通機関で好きな所へ移動できる	0.18
(タ) 行政サービスのデジタル化が進んでいる	0.23	(ス) 通学しやすい場所に学校がある	0.17
(ウ) 困ったとき相談できる人が身近にいる	0.22	(コ) 若者が活躍しやすい雰囲気がある	0.16
(カ) 自宅周辺では騒音に悩まされていない	0.16	(チ) 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用している	0.15
(ニ) 身近に自然を感じることができる	0.16	(キ) 見知らぬ他者であっても信頼する	0.14
(エ) 困っている人がいたら手助けする	0.16	(カ) 自宅周辺では騒音に悩まされていない	0.13
(キ) 見知らぬ他者であっても信頼する	0.13	(タ) 行政サービスのデジタル化が進んでいる	0.13
(ク) 町内の人が自分をどう思っているのかが気になる	-0.03	(ク) 町内の人が自分をどう思っているのかが気になる	-0.01

施策の満足度			
暮らしの満足度との相関性		幸福度との相関性	
(ヌ) 安全・安心対策	0.33	(ネ) 消費生活	0.25
(ナ) 住宅環境	0.31	(ナ) 住宅環境	0.24
(ウ) 学校教育	0.30	(ス) 生活福祉	0.24
(リ) 適正な行財政運営	0.30	(ヌ) 安全・安心対策	0.24
(タ) 生活道路	0.29	(タ) 生活道路	0.22
(セ) 保健医療	0.29	(モ) 雇用	0.21
(ネ) 消費生活	0.28	(ウ) 学校教育	0.21
(テ) 下水道等	0.27	(ニ) 環境衛生	0.20
(ソ) 社会保障	0.27	(ヤ) 市民参加	0.20
(ト) 緑化	0.27	(ユ) 情報化	0.19
(エ) 社会教育	0.27	(ソ) 社会保障	0.19
(モ) 雇用	0.26	(テ) 下水道等	0.19
(コ) 児童福祉	0.25	(リ) 適正な行財政運営	0.18
(オ) スポーツ・レクリエーション	0.25	(ハ) 秩序ある市街地整備	0.18
(ケ) 地域福祉	0.25	(ト) 緑化	0.18
(チ) 河川	0.25	(ミ) 中小企業	0.18
(ニ) 環境衛生	0.25	(シ) 障害者福祉	0.18
(ヒ) 総合交通体系	0.24	(ツ) 上水道	0.17
(ハ) 秩序ある市街地整備	0.24	(キ) 青少年健全育成	0.16
(ツ) 上水道	0.24	(フ) 資源の有効利用	0.16
(イ) 幼児期教育	0.23	(サ) 高齢者福祉	0.16
(ユ) 情報化	0.23	(ノ) 適正な土地利用	0.16
(ヤ) 市民参加	0.23	(イ) 幼児期教育	0.15
(ヨ) コミュニティ	0.22	(ヨ) コミュニティ	0.15
(ル) 広域行政(連携)	0.22	(セ) 保健医療	0.15
(マ) 商業	0.21	(メ) 流通機能	0.14
(ス) 生活福祉	0.21	(コ) 児童福祉	0.14
(サ) 高齢者福祉	0.21	(チ) 河川	0.14
(ノ) 適正な土地利用	0.21	(ケ) 地域福祉	0.14
(ミ) 中小企業	0.20	(ヒ) 総合交通体系	0.14
(ア) 生涯学習(学習機会の提供など)	0.20	(ル) 広域行政(連携)	0.14
(シ) 障害者福祉	0.20	(エ) 社会教育	0.13
(ム) 観光	0.20	(ラ) 男女共同参画	0.13
(メ) 流通機能	0.19	(マ) 商業	0.13
(ホ) 工業	0.19	(カ) 市民文化	0.12
(キ) 青少年健全育成	0.19	(ア) 生涯学習(学習機会の提供など)	0.12
(カ) 市民文化	0.19	(オ) スポーツ・レクリエーション	0.12
(ヘ) 農林業	0.18	(ホ) 工業	0.11
(ラ) 男女共同参画	0.17	(ヘ) 農林業	0.11
(フ) 資源の有効利用	0.16	(ム) 観光	0.09
(ク) 国際化	0.13	(ク) 国際化	0.06

相関分析結果より

◆主観指標（Well-being）46 指標のうち、「幸福度」「暮らしの満足度」と相関性が検出されたのは以下の9項目。

<幸福度:5項目>

- ・(オ) 自宅に心地のいい居場所がある
- ・(ツ) 地域の雰囲気は自分にとって心地よい
- ・(ア) 自分のことを好ましく感じる
- ・(イ) 身体的に健康な状態である
- ・(ウ) 精神的に健康な状態である

<暮らしの満足度:4項目>

- ・(サ) 子供たちがいきいきと暮らせる
- ・(セ) 地域のことを真剣に考えていると思う
- ・(ツ) 地域の雰囲気は自分にとって心地よい
- ・(オ) 町内に愛着を持っている

◆なお、施策の満足度と「幸福度」「暮らしの満足度」では弱い相関性が検出された項目はあるものの、顕著な結果は得られなかった。

◆相関分析の結果から、幸福度に影響を与えるのは、自己効力感や健康状態といった身近な関心ごとに関する項目が多いことが分かる。

◆暮らしの満足度については、まちづくり分野でいえば「学校教育」「社会教育」「児童福祉」「市民参加」「住宅環境」「安心安全」「コミュニティ」等が重要視されている様子がうかがえる。

茂原市の今後のまちづくりへの提案（自由記述）

○397 人から 732 件のご意見・提案をいただいた。

意見内容の要約	
河川・水害対策について（82件）	
	○水害対策。 ○早急な河川整備の推進。
商業について（62件）	
	○駅前、商店街の商業施設の充実。 ○ショッピングモールなど大型商業施設の誘致。
道路について（51件）	
	○通学路の整備。 ○道路の凹凸の整備。
行財政運営について（51件）	
	○財政の健全化、税金の有効活用。 ○子育て世帯等に向けた助成金の充実。
交通環境について（43件）	
	○電車・バスの本数を増やす等、公共交通機関の充実。 ○インターチェンジの有効活用。
企業誘致について（37件）	
	○企業誘致による人口減少の抑制。 ○企業誘致による地域の活性化。
保険医療について（31件）	
	○救急医療体制の充実。 ○子どもの医療費の無償化、子どもの夜間・休日診療体制の充実。
住宅環境について（29件）	
	○空き地・空き家の有効活用。 ○公害（ゴミ、雑草、地域猫等）への対応の充実。
シティプロモーションについて（27件）	
	○観光客の誘致（七夕まつりのPR、七夕まつり以外の魅力の創出）。 ○テレビやSNSを活用した情報発信。
学校教育について（23件）	
	○ハード、ソフト両面からの教育環境の充実。 ○合併に対する不安。
公園・緑地について（23件）	
	○公園・公園施設の整備・充実。 ○雨の日や炎天下でも子どもが遊べる室内遊び場の新設。
市街地整備について（20件）	
	○駅周辺の再開発と活性化。 ○使われていない公共施設や農地等の有効活用。

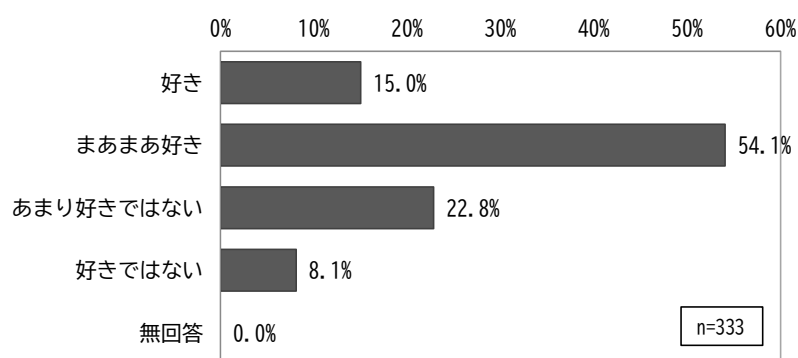
意見内容の要約	
高齢者福祉について(19件)	
	○高齢者の移動手段の確保(車がなくても移動できる手段)、買い物支援。 ○介護環境の整備。
文化芸術について(18件)	
	○市民会館・文化会館の早期新設。 ○美術館の魅力向上。
協働のまちづくりについて(18件)	
	○自治会の会員減少、若い世代の参加促進。 ○多世代が交流できる場づくり。
雇用について(17件)	
	○若者に魅力ある働く場づくり。 ○働く場がないために出ていかざるを得ない状況の改善。
まちの将来像について(15件)	
	○安心・安全なまち。 ○住みたいと思ってもらえるまち。
防災・消防について(13件)	
	○避難訓練・避難所の充実。 ○防犯カメラの増設。
生涯学習について(10件)	
	○図書館の利用しやすい環境整備(駐車場、カフェ、自習スペースの増設)。
農林業について(10件)	
	○農業従事者の高齢化対策。
環境保全について(10件)	
	○ゴミ袋が高い。
アンケートについて(9件)	
	○質問量が多い。
社会保障について(9件)	
	○低所得者への支援の充実。
土地利用について(8件)	
	○土地の有効活用。
少数意見	
	●スポーツ・レクリエーションについて(6件) ●防犯について(6件) ●人権・男女共同参画について(6件) ●下水道について(4件) ●地域福祉について(3件) ●障害者福祉について(3件)
その他意見(20件)	

Ⅱ 高校生アンケート結果

①愛着度【単数回答】

○「好き」と「まあまあ好き」を合わせた『好き』が 69.1%、「あまり好きではない」と「好きではない」を合わせた『好きではない』が 30.9%となっている。

●居住地別にみると、“茂原市内”在住の人では、“茂原市外”在住の人に比べて『好き』が 17.2 ポイント高くなっている。



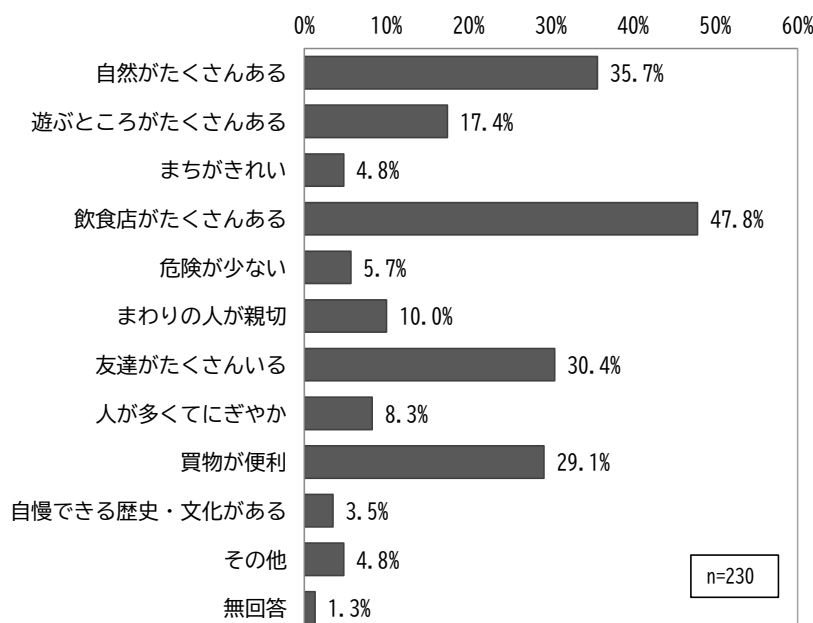
【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（%）		合計	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない	無回答
全体		333	50	180	76	27	0
		100.0	15.0	54.1	22.8	8.1	0.0
性別	男性	197	30	110	41	16	0
		100.0	15.2	55.8	20.8	8.1	0.0
	女性	115	19	63	27	6	0
		100.0	16.5	54.8	23.5	5.2	0.0
居住地	回答しない	20	1	7	8	4	0
		100.0	5.0	35.0	40.0	20.0	0.0
	茂原市内	115	30	63	17	5	0
		100.0	26.1	54.8	14.8	4.3	0.0
	茂原市外	215	20	117	56	22	0
		100.0	9.3	54.4	26.0	10.2	0.0

②好きな理由【複数回答】＊①で「好き」「まあまあ好き」と回答した人限定

○「飲食店がたくさんある」が47.8%で最も多くなっている。

●性別にみると、女性では男性に比べて「自然がたくさんある」が10ポイント以上高くなっている。

●居住地別にみると、“茂原市内”在住の人では“茂原市外”在住の人に比べて「まわりの人が親切」が10.3ポイント、“茂原市外”在住の人では“茂原市内”在住の人に比べて「買い物が便利」が9.1ポイント高くなっている。



【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	自然がた くさんあ る	遊ぶとこ ろがたく さんある	まちがき れい	飲食店が たくさん ある	危険が少 ない	まわりの 人が親切
性 別	全体	230 100.0	82 35.7	40 17.4	11 4.8	110 47.8	13 5.7	23 10.0
	男性	140 100.0	44 31.4	25 17.9	8 5.7	71 50.7	12 8.6	16 11.4
	女性	82 100.0	35 42.7	14 17.1	3 3.7	36 43.9	0 0.0	6 7.3
	回答しない	8 100.0	3 37.5	1 12.5	0 0.0	3 37.5	1 12.5	1 12.5
居 住 地	茂原市内	93 100.0	36 38.7	14 15.1	6 6.5	46 49.5	10 10.8	15 16.1
	茂原市外	137 100.0	46 33.6	26 19.0	5 3.6	64 46.7	3 2.2	8 5.8

【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	友達がた くさんい る	人が多く てにぎや か	買物が便 利	自慢でき る歴史・ 文化があ る	その他	無回答
性 別	全体	230 100.0	70 30.4	19 8.3	67 29.1	8 3.5	11 4.8	3 1.3
	男性	140 100.0	46 32.9	9 6.4	44 31.4	6 4.3	5 3.6	3 2.1
	女性	82 100.0	22 26.8	9 11.0	23 28.0	0 0.0	6 7.3	0 0.0
	回答しない	8 100.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0
居 住 地	茂原市内	93 100.0	30 32.3	7 7.5	22 23.7	4 4.3	5 5.4	0 0.0
	茂原市外	137 100.0	40 29.2	12 8.8	45 32.8	4 2.9	6 4.4	3 2.2

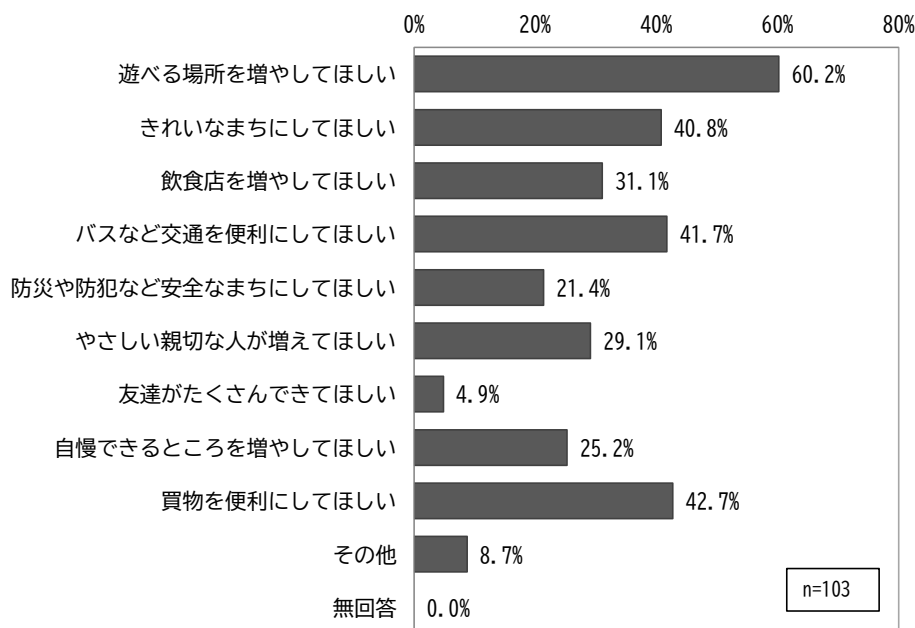
③どうしたら好きになれるか【複数回答】

*③で「あまり好きではない」「好きではない」と回答した人限定

○「遊べる場所を増やしてほしい」が60.2%で最も多くなっている。

●性別にみると、女性では男性に比べて「飲食店を増やしてほしい」、「きれいなまちにしてほしい」、「やさしい親切な人が増えてほしい」が10ポイント以上高くなっている。

●居住地別にみると、“茂原市外”在住の人では“茂原市内”在住の人に比べて「バスなど交通を便利にしてほしい」、「飲食店を増やしてほしい」が20ポイント以上高くなっている。



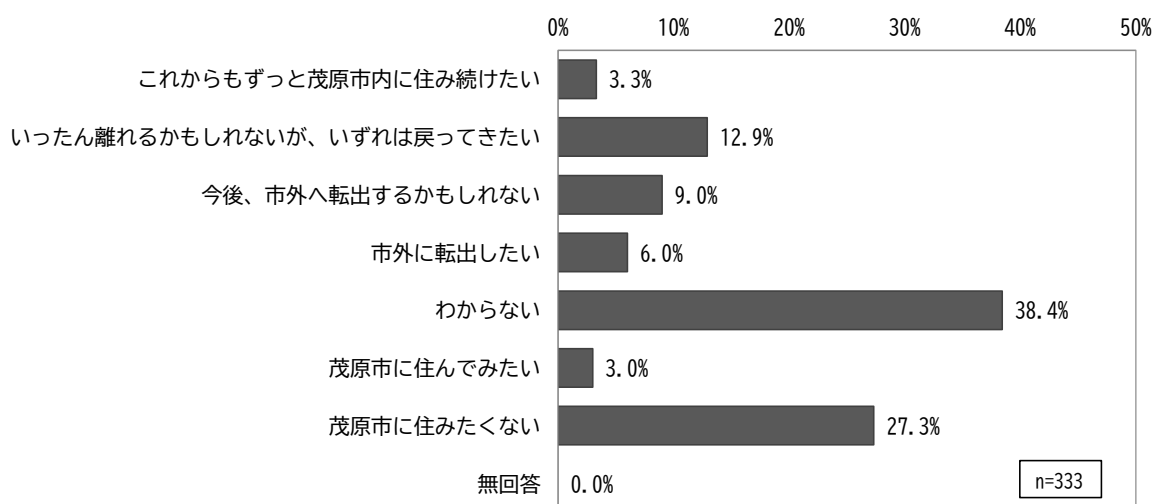
【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	遊べる場所を増やしてほしい	きれいなまちにしてほしい	飲食店を増やしてほしい	バスなど交通を便利にほしい	防災や防犯など安全なまちにほしい	やさしい親切な人が増えてほしい
全体		103	62	42	32	43	22	30
		100.0	60.2	40.8	31.1	41.7	21.4	29.1
性別	男性	57	36	22	16	21	14	15
		100.0	63.2	38.6	28.1	36.8	24.6	26.3
	女性	33	20	17	14	15	8	12
		100.0	60.6	51.5	42.4	45.5	24.2	36.4
回答しない		12	5	2	1	6	0	3
		100.0	41.7	16.7	8.3	50.0	0.0	25.0
居住地	茂原市内	22	13	6	3	5	5	5
		100.0	59.1	27.3	13.6	22.7	22.7	22.7
	茂原市外	78	48	35	29	37	17	23
		100.0	61.5	44.9	37.2	47.4	21.8	29.5

【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	友達がたくさんきてほしい	自慢できるところを増やしてほしい	買物を便利にほしい	その他	無回答
全体		103	5	26	44	9	0
		100.0	4.9	25.2	42.7	8.7	0.0
性別	男性	57	3	12	25	6	0
		100.0	5.3	21.1	43.9	10.5	0.0
	女性	33	1	10	16	3	0
		100.0	3.0	30.3	48.5	9.1	0.0
回答しない		12	1	3	2	0	0
		100.0	8.3	25.0	16.7	0.0	0.0
居住地	茂原市内	22	0	5	12	4	0
		100.0	0.0	22.7	54.5	18.2	0.0
	茂原市外	78	5	21	32	5	0
		100.0	6.4	26.9	41.0	6.4	0.0

④ 定住意向【単数回答】

○市内在住の人では、「これからもずっと茂原市内に住み続けたい」と「いったん離れるかもしれないが、いずれは戻ってきたい」を合わせた『定住意向あり』が36.5%となっている。また、市外在住の人では、「茂原市に住みたくない」が39.1%となっている。

●愛着度別にみると、愛着度が高い人ほど『定住意向あり』の割合が高い傾向がみられる。また、愛着度が低いほど、「茂原市に住みたくない」の割合が高い傾向がみられる。



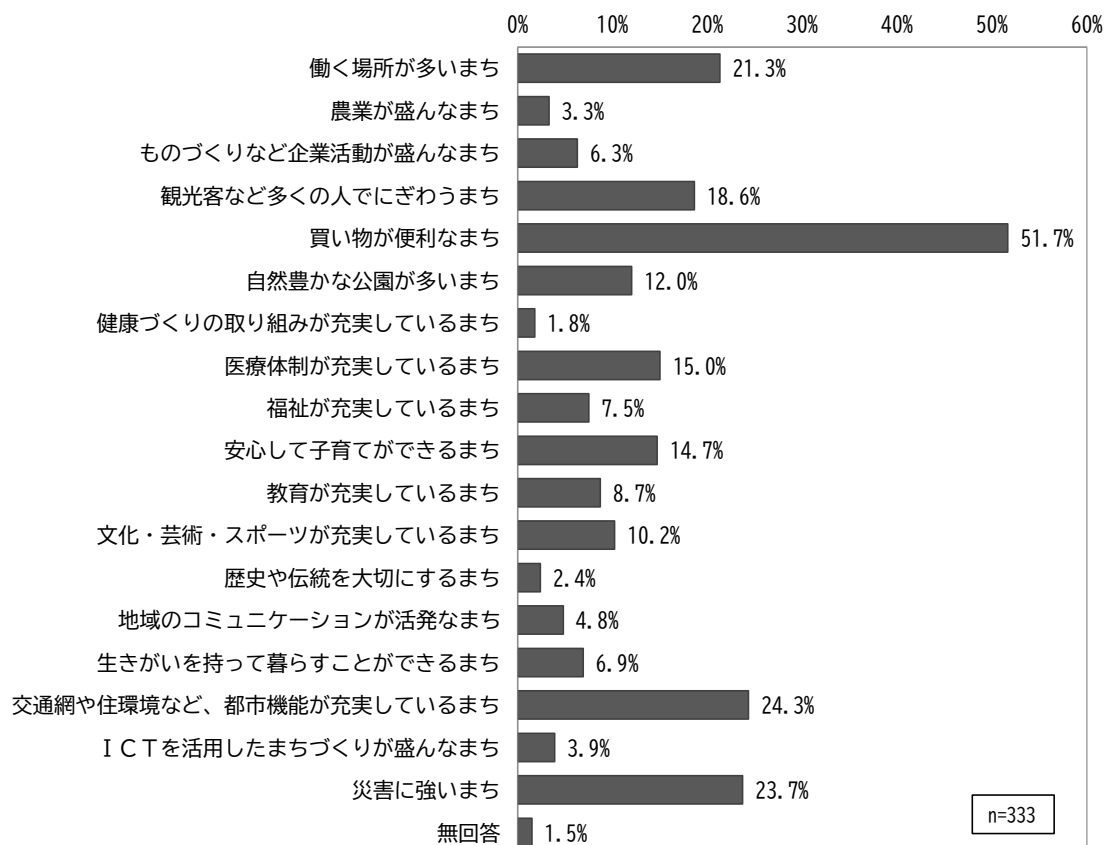
【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（%）		合計	これから もずっと 茂原市内 に住み続 けたい	いったん 離れるか もしれな いが、い ずれは 戻ってき たい	今後、市 外へ転出 するかも しれない	市外に転 出したい	わからな い	茂原市に 住んでみ たい	茂原市に 住みたく ない	無回答
全体		333 100.0	11 3.3	43 12.9	30 9.0	20 6.0	128 38.4	10 3.0	91 27.3	0 0.0
性別	男性	197 100.0	6 3.0	30 15.2	22 11.2	12 6.1	70 35.5	5 2.5	52 26.4	0 0.0
	女性	115 100.0	5 4.3	12 10.4	6 5.2	7 6.1	50 43.5	5 4.3	30 26.1	0 0.0
	回答しない	20 100.0	0 0.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0	8 40.0	0 0.0	8 40.0	0 0.0
居住地	茂原市内	115 100.0	9 7.8	33 28.7	26 22.6	16 13.9	26 22.6	0 0.0	5 4.3	0 0.0
	茂原市外	215 100.0	2 0.9	10 4.7	4 1.9	4 1.9	101 47.0	10 4.7	84 39.1	0 0.0
愛着度	好き	50 100.0	3 6.0	18 36.0	3 6.0	1 2.0	17 34.0	5 10.0	3 6.0	0 0.0
	まあまあ好き	180 100.0	6 3.3	23 12.8	16 8.9	13 7.2	84 46.7	4 2.2	34 18.9	0 0.0
	あまり好きではない	76 100.0	2 2.6	2 2.6	9 11.8	4 5.3	25 32.9	1 1.3	33 43.4	0 0.0
	好きではない	27 100.0	0 0.0	0 0.0	2 7.4	2 7.4	2 7.4	0 0.0	21 77.8	0 0.0

⑤どのようなまちであれば住みたいか【複数回答】＊3つまで

○「買い物が便利なまち」が51.7%で最も多くなっている。

●性別にみると、女性では男性に比べて「買い物が便利なまち」が9.8ポイント、「働く場所が多いまち」が9.0ポイントそれぞれ高くなっている。

●“茂原市内”在住の人では“茂原市外”在住の人に比べて「災害に強いまち」が10ポイント以上、「福祉が充実しているまち」、「安心して子育てができるまち」がそれぞれ5ポイント以上高くなっている。

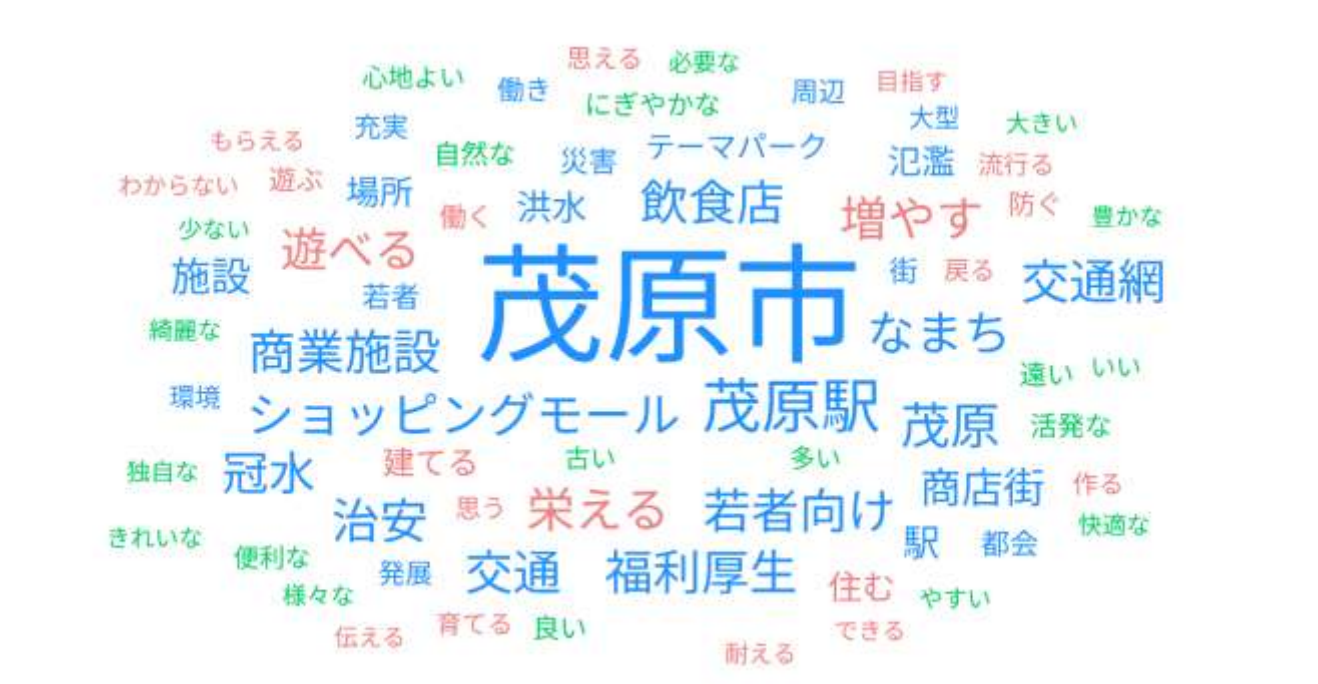


【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	働く場所 が多いま ち	農業が盛 んなまち	ものづく りなど企 業活動が 盛んなま ち	観光客な ど多くの 人でにぎ わうまち	買い物が 便利なま ち	自然豊か な公園が 多いまち	健康づく りの取り 組みが充 実してい るまち	医療体制 が充実し ているま ち	福祉が充 実してい るまち	安心して 子育てが できるま ち
全体		333 100.0	71 21.3	11 3.3	21 6.3	62 18.6	172 51.7	40 12.0	6 1.8	50 15.0	25 7.5	49 14.7
性別	男性	197 100.0	37 18.8	8 4.1	15 7.6	38 19.3	92 46.7	27 13.7	3 1.5	30 15.2	17 8.6	30 15.2
	女性	115 100.0	32 27.8	2 1.7	4 3.5	19 16.5	65 56.5	11 9.6	3 2.6	17 14.8	7 6.1	16 13.9
	回答しない	20 100.0	2 10.0	1 5.0	2 10.0	4 20.0	14 70.0	2 10.0	0 0.0	3 15.0	0 0.0	3 15.0
居住地	茂原市内	115 100.0	27 23.5	4 3.5	5 4.3	21 18.3	59 51.3	14 12.2	1 0.9	17 14.8	13 11.3	21 18.3
	茂原市外	215 100.0	43 20.0	7 3.3	16 7.4	41 19.1	113 52.6	26 12.1	5 2.3	33 15.3	12 5.6	27 12.6
愛着度	好き	50 100.0	9 18.0	2 4.0	3 6.0	9 18.0	27 54.0	7 14.0	1 2.0	9 18.0	5 10.0	12 24.0
	まあまあ好き	180 100.0	42 23.3	6 3.3	10 5.6	34 18.9	98 54.4	24 13.3	3 1.7	26 14.4	11 6.1	23 12.8
	あまり好きでは ない	76 100.0	16 21.1	2 2.6	7 9.2	15 19.7	39 51.3	8 10.5	1 1.3	10 13.2	3 3.9	7 9.2
	好きではない	27 100.0	4 14.8	1 3.7	1 3.7	4 14.8	8 29.6	1 3.7	1 3.7	5 18.5	6 22.2	7 25.9

【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（％）		合計	教育が充 実してい るまち	文化・芸 術・ス ポーツが 充実して いるまち	歴史や伝 統を大切 にするま ち	地域のコ ミュニ ケーションが活 発なまち	生きがい を持って 暮らすこ とができ るまち	交通網や 住環境な ど、都市 機能が充 実してい るまち	I C Tを 活用した まちづく りが盛ん なまち	災害に強 いまち	無回答
全体		333 100.0	29 8.7	34 10.2	8 2.4	16 4.8	23 6.9	81 24.3	13 3.9	79 23.7	5 1.5
性別	男性	197 100.0	19 9.6	27 13.7	4 2.0	11 5.6	15 7.6	47 23.9	6 3.0	46 23.4	4 2.0
	女性	115 100.0	10 8.7	6 5.2	3 2.6	5 4.3	8 7.0	28 24.3	2 1.7	30 26.1	1 0.9
	回答しない	20 100.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0	6 30.0	5 25.0	3 15.0	0 0.0
居住地	茂原市内	115 100.0	10 8.7	13 11.3	5 4.3	1 0.9	14 12.2	25 21.7	1 0.9	37 32.2	0 0.0
	茂原市外	215 100.0	18 8.4	21 9.8	3 1.4	15 7.0	9 4.2	56 26.0	12 5.6	42 19.5	5 2.3
愛着度	好き	50 100.0	4 8.0	5 10.0	3 6.0	2 4.0	6 12.0	7 14.0	1 2.0	13 26.0	0 0.0
	まあまあ好き	180 100.0	17 9.4	17 9.4	5 2.8	11 6.1	11 6.1	43 23.9	4 2.2	44 24.4	1 0.6
	あまり好きでは ない	76 100.0	6 7.9	11 14.5	0 0.0	3 3.9	4 5.3	24 31.6	4 5.3	15 19.7	1 1.3
	好きではない	27 100.0	2 7.4	1 3.7	0 0.0	0 0.0	2 7.4	7 25.9	4 14.8	7 25.9	3 11.1

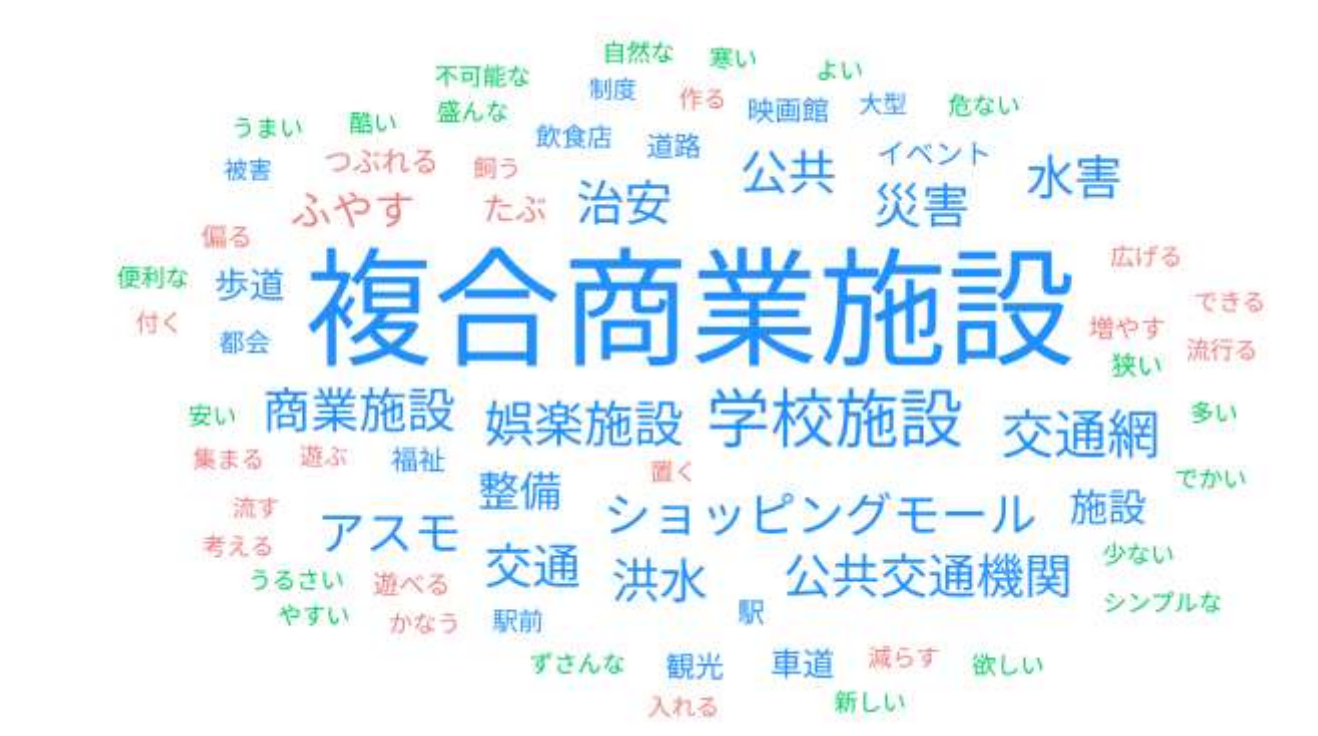
⑥戻ってきたいと思えるまちになるために何をすればよいと思うか【自由記述】

○「商業施設」や「飲食店」等に関する意見が多くみられるほか、「交通網」等利便性の充実、「治安」や「冠水」といった安心安全を重視している様子がうかがえる。



⑦今後のまちづくりでもっと力を入れてほしいと思うこと【自由記述】

○「商業施設」「娯楽施設」に関する意見が多くみられるほか、「学校施設」等の教育環境や「交通網」「公共交通機関」といった利便性の充実、「水害」「洪水」等の災害対策に関する意見が多くなっている。

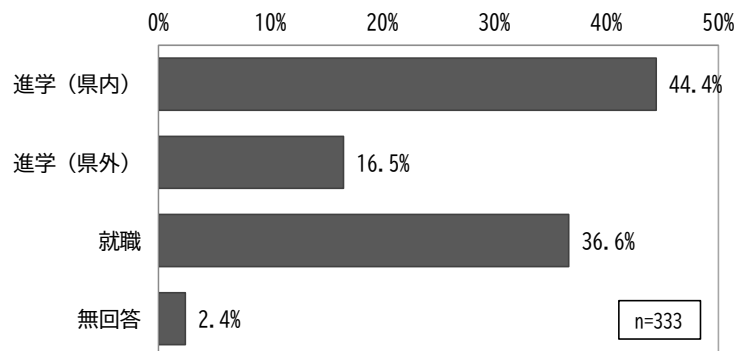


⑧今後の進路【単数回答】

○「進学（県内）」が44.4%で最も多くなっている。

●性別にみると、男性では「就職」が47.7%で最も多く、女性に比べて24.2ポイント高くなっている。女性では「進学（県内）」が53.9%で最も多く、男性に比べて17.4ポイント高くなっている。

●居住地別にみると、“茂原市内”在住の人では「就職」、「茂原市外」在住の人では「進学（県内）」がそれぞれ約半数で最も多くなっている。



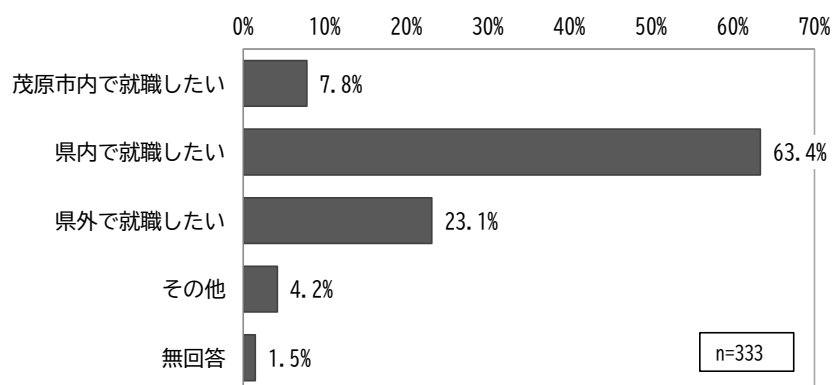
【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（%）		合計	進学（県内）	進学（県外）	就職	無回答
全体		333 100.0	148 44.4	55 16.5	122 36.6	8 2.4
性別	男性	197 100.0	72 36.5	26 13.2	94 47.7	5 2.5
	女性	115 100.0	62 53.9	24 20.9	27 23.5	2 1.7
	回答しない	20 100.0	13 65.0	5 25.0	1 5.0	1 5.0
居住地	茂原市内	115 100.0	46 40.0	13 11.3	53 46.1	3 2.6
	茂原市外	215 100.0	100 46.5	42 19.5	68 31.6	5 2.3

⑨今後の就職先【単数回答】

○「県内で就職したい」が63.4%で最も多くなっている。

●居住地別にみると、“茂原市内”在住の人で「茂原市内で就職したい」と回答した人は約1割となっている。

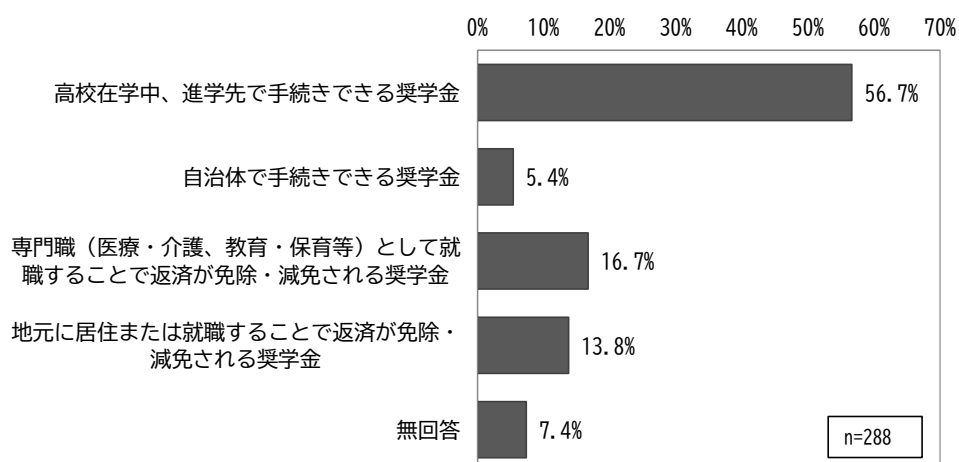
●愛着度別にみると、「茂原市内で就職したい」「県内で就職したい」と回答した人の割合は、愛着度の高い人ほど多い傾向がみられる。一方、「県外で就職したい」の割合は、愛着度の低い人ほど多くなっている。



【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（%）		合計	茂原市内 で就職し たい	県内で就 職したい	県外で就 職したい	その他	無回答
全体		333 100.0	26 7.8	211 63.4	77 23.1	14 4.2	5 1.5
性別	男性	197 100.0	14 7.1	125 63.5	44 22.3	10 5.1	4 2.0
	女性	115 100.0	11 9.6	75 65.2	26 22.6	2 1.7	1 0.9
	回答しない	20 100.0	1 5.0	10 50.0	7 35.0	2 10.0	0 0.0
居住地	茂原市内	115 100.0	14 12.2	71 61.7	23 20.0	5 4.3	2 1.7
	茂原市外	215 100.0	12 5.6	138 64.2	53 24.7	9 4.2	3 1.4
愛着度	好き	50 100.0	10 20.0	33 66.0	4 8.0	3 6.0	0 0.0
	まあまあ好き	180 100.0	14 7.8	118 65.6	39 21.7	6 3.3	3 1.7
	あまり好きではない	76 100.0	2 2.6	46 60.5	24 31.6	3 3.9	1 1.3
	好きではない	27 100.0	0 0.0	14 51.9	10 37.0	2 7.4	1 3.7

⑩奨学金で受けたい支援【単数回答】＊⑧で「進学（県内）」「進学（県外）」と回答した人限定

○「高校在学中、進学先で手続きできる奨学金」が56.7%で最も多くなっている。



【単位】 上段：実数（人） 下段：割合（%）		合計	高校在学中、進学先で手続きできる奨学金	自治体で手続きできる奨学金	専門職（医療・介護、教育・保育等）として就職することで返済が免除・減免される奨学金	地元に住居または就職することで返済が免除・減免される奨学金	無回答
全体		203 100.0	115 56.7	11 5.4	34 16.7	28 13.8	15 7.4
性別	男性	98 100.0	52 53.1	8 8.2	15 15.3	14 14.3	9 9.2
	女性	86 100.0	52 60.5	2 2.3	16 18.6	10 11.6	6 7.0
	回答しない	18 100.0	10 55.6	1 5.6	3 16.7	4 22.2	0 0.0
居住地	茂原市内	59 100.0	37 62.7	5 8.5	8 13.6	6 10.2	3 5.1
	茂原市外	142 100.0	76 53.5	6 4.2	26 18.3	22 15.5	12 8.5
愛着度	好き	28 100.0	16 57.1	1 3.6	3 10.7	6 21.4	2 7.1
	まあまあ好き	103 100.0	60 58.3	8 7.8	17 16.5	11 10.7	7 6.8
	あまり好きではない	56 100.0	34 60.7	1 1.8	9 16.1	7 12.5	5 8.9
	好きではない	16 100.0	5 31.3	1 6.3	5 31.3	4 25.0	1 6.3